

復元なった鍬山鉾



(平成17年10月24日撮影)

提灯飾の嶽山鉾



(平成 17 年 10 月 23 日山本治氏撮影)

## はじめに

丹波の祇園祭、秋の祇園祭と称される亀岡祭は各山鉾町の努力により近年いよいよ盛んになりつつある中で、鉾山も昭和61年よりそれまでの飾山を昇山に復活し、平成14年には囃子を復活、さらには何とか大きな車輪をつけ曳山に復元したいとの自治会員関係者の熱き思いが、時まさに亀岡市制施行50年の平成17年10月に完成をみた。

この際、鉾山鉾復興の諸記録を冊子にまとめて、その事跡を後世に留めおきたいとの保存会の意見がまとまり、関係者分担して執筆し本書を作成した。

平成18年5月

鉾山鉾復元までの軌跡編集委員会

---

目	次
---	---

---

復元なった鉾山鉾写真……………	巻頭
お祝いの言葉……………	2
平成17年行事写真……………	7
平成16年までの昇山「鉾山」……………	9
写真で見る曳き山復元工程……………	10
曳山 鉾山鉾復元記録……………	13
平成17年本祭巡行役割図……………	28
亀岡祭山鉾行事の記録……………	30
昇山 鉾山の再興に関する記録……………	36
京都府寺社等文化保全事業その他による	
鉾山修復事業……………	41
写真で見る鉾山の行事……………	53
昇山鉾山を曳山鉾山鉾に（古文書より）	58
鉾山囃子復活の経過……………	59
鉾山鉾囃子譜面……………	84
鉾山鉾設計図（Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ）……………	付録 図1-1，1-2，1-3
昇山鉾山と曳山鉾山の比較図……………	付録 図2
他町山鉾との比較図……………	付録 図3



### 特別附録

「平成17年亀岡祭鉾山巡行」を三重県亀山市関町の岩間靖彦氏が撮影され寄贈頂きました。DVDにダビングして添付しました。

表紙の切絵は郷土切絵作家  
達富弘之氏作品 北町鉾山鉾



## 刊行によせて

亀岡市長 栗山正隆

このたび、鍬山鉾の曳山復興への軌跡を「亀岡祭 曳山鍬山鉾」として上梓されましたことに、心からお喜びを申し上げますとともに、今日に至るまでの様々な伝統文化の保存・継承にご尽力をいただきました皆様に対し、深甚なる敬意を表します。

亀岡市は、先人から受け継いだ尊い知恵と豊かな自然に感謝し、新たな時代への礎を築くため、市民の皆様の参画と協働を理念に施策を進めているところです。

亀岡祭りの関係各位におかれましても、山鉾巡行の復興やお囃子の復活など伝統の復興をはじめ、スタンプラリーや花灯路の実施など地域の皆様の新たな試みにより、市内外に亀岡の魅力を大いに発信していただいているところです。

現行の亀岡祭りの曳山は、もともと舁山として建造され、後年曳山に改造された経緯がありますが、ここ鍬山に限っては、長年舁山のまま守り続けられてきました。そこには、他町とは違った趣向でという風流の真髄に迫る町衆の心意気を感じ取ることができます。

平成14年には200年ぶりにお囃子が復活され、平成17年には、亀岡市制施行50周年という亀岡市としても記念すべき年に曳山「鍬山鉾」とされました。これもまた240年の時を経て曳山に戻された現代に見る山鉾町の意気込みであると存じます。

山鉾の建造にかかる町衆の動きを記した史料には、質素儉約を旨とし町内の出費を抑え、用材や多額の金品の寄進を募ったことなどが記されていますが、本冊子はこれらの史実も盛り込まれ曳山復興に至るまでの経緯がつぶさに記録されています。まさに「平成版曳山・鍬山鉾復興記」として、亀岡祭りの歴史を語る資料がまたひとつ加わったことを誠に喜ばしく思います。

あとになりましたが、鍬山鉾をはじめとする亀岡祭山鉾行事が、亀岡の文化力を高めるけん引役として、まちのにぎわいの創出につながりますことを期待し、刊行によせてのあいさつといたします。



## ～山鉾曳山復元に感謝して～

前衆議院議員  
亀岡祭山鉾連合会顧問  
田中 英夫

平成17年10月25日、11基の鉾巡行の席に連合会顧問として列席させていただいていた私は、巡行しんがりを務めた鉾山鉾が木車の音をききませながら目の前を通りすぎてゆく雄姿を見つつ、多くの方々の今日までのご努力に胸がジンと熱くなるのを感じました。

昭和61年秋祭り、それまで北町会所でおかざりのみとしていた鉾山鉾が昇山（かきやま）として復帰参加をして以来、年々急ピッチで昇山としての改修を進めてこられました。私も府市の補助金獲得等にお手伝いをしながらも、町内の方々のこの改修にかかる物心両面での熱い想いには目を見張るものがありました。北町のその熱意が連合会全体に波及し、各鉾町も競って懸装品（けそうひん）などの改修に精を出される一つのきっかけとなった、北町の住民の一人としてそのようにも思うところです。

平成12年、私が市長時代に、是非宵々山に山鉾を出してほしいと連合会にお願いしたことにも賛同いただき、今では屏風（びょうぶ）祭りも兼ねそなえた行事として定着させていただいたことも、長い年月の各鉾町の改修への熱意の結果だと思っています。

そして昨年11月の市制50周年式典には、ガレリアに鉾の集結をいただき、亀岡に山鉾ありと多くの市内外の方々の賞賛を得られたところです。

これらのそれぞれの節目の折に、鉾山鉾の皆さんが常に積極的に賛同いただきご協力いただいたことを今改めてありがたく思い出しています。

鉾山鉾はその後鉾蔵の新築、そしてお囃子も立派に復活され、今回の曳山（ひきやま）復元へと進んでこられたところであり、町衆の力ここにありと力強い結束によって今日の日を迎えられました。

今日までの関係者のみなさまの並々ならぬご熱意とご努力に深い敬意を表しつつ、今後も鉾山鉾が、そしてそこに結集される町衆のみなさんが大いにご健勝でご発展ありますように心から祈念いたします。

誠におめでとうございます。



昇山復興から曳山復元までの記録



## そのとき感慨が溢れた

亀岡祭山鉾連合会会長  
(鉾山顧問)

八木 市次

そのとき私は涙をこらえるため顔を上に向けた。空は日本晴れだった。

平成17年10月25日、旅籠町の本部席前に巡行しんがりを勤める鉾山鉾代表嶋村克美氏が進み、名乗りが響いた。「……曳山鉾の雄姿、町衆の心意気を ご覧あれ！」……感慨が溢れた。

名乗りを終えた扇で鉾山鉾の巡行開始を促すオイデ・オイデが始まった。いよいよ巡行開始だ！ あれ？…、どうしたのだ。動く気配が無い。本部席でもざわめきがおこった。…少し長い間が流れた。準備を整えた鉾山鉾は音頭取りの合図でやっと進み始めた。ホッとした。

ついに曳山に復元された鉾山が鉾車のギイギイと軋む音も誇らしげに進んでくる鉾山。本部前で特出しのからくり「ひさしの跳ね上げ」を披露、感嘆の拍手が沸いた。続いてのからくり「鉾軸」を立てての辻回しも披露、音頭取りの「よろしかったらソーレ」を合図にその場で360度の回転はさすがに緊張感満点のスリルがさらに観客の大拍手を誘い、「さすがにほんまもの山鉾や」「音の迫力が違う」と絶賛されながら遠ざかる囃子の音に私はしばし見とれていた。

あれは昭和55年の秋、分配金を貰いに行った福祉センターの1室で、亀岡祭山鉾保存会（連合会の前身）会長西脇賢次氏が私に「山を出さない北町はまるで泥棒のようなもの……（注： 会所に飾っておくだけで補助金を持って帰る）」、と言われて「何を！」と腹を立てたのが山鉾に係わる原点となった。

あの時(25年前)想像もしなかったことを今、思いながら鉾山復興に係わってきた昭和61年からの記録（昇山 鉾山の復興から、曳山 鉾山の復元新調にいたるまでの部分）を担当してまとめたが、なお不足する部分も多く、その補完をお願いしながら、紙面をお借りし町内外の関係の皆様のご理解・ご努力に深く感謝申し上げます。





## 山鉾曳山復元完成を祝して

鍬山鉾復元実行委員長  
北町鍬山保存会代表  
(18年3月末日退任)  
吉田 好夫

平成17年10月25日午前10時20分、音頭取りの掛け声勇ましく祇園囃子の音色と共に、総勢70有余の町内の方々を初めとする皆さんにより、ギ、ギ、ギツー、と木車の音を響かせながら曳山に復元なった鍬山鉾が、亀岡祭の山鉾巡行に感激の第1歩を印したのであります。

北町に継承されている鉾は、かつては裏通りの会議所玄関の間に、御神体、懸装品等を飾付けておりましたが、戦後には昇山に組み立てていた記憶があります。その後何とか鉾を復活しようと八木市次さん、谷内信隆さんを中心に発起され自治会長等にもお願いし町内の皆さんにも集まって頂き、屋台の足らずの補充をして立派に飾付けが出来る目途もたち、旧京都信用金庫の店舗跡をお借りして、昭和61年に秋祭りに昇山として復活することが出来ました。その後賑やかにお祭を催す中で平成2年には補助車の取付けをし、昇山として巡行に、初めて参加を致しました。以後色々と趣向を凝らしつつ市民の皆様が秋祭りを愉しんで頂いて居りましたが、年々亀岡祭山鉾連合会も活発に活動する一方、亀岡祭についても亀岡市史に古文書等でも紹介され、鍬山鉾が明和2年(1765年)に明神山の名前で曳山として囃子と共に巡行していましたが、文化8年(1811年)に昇山として新調され現在に継承されている記述があります。その後折々に市史記述に併せて鍬山鉾も曳山に出来ないかと話し合っていました。先ずは囃子からとすることで平成14年に20数人の皆さんにより特訓の末習得をして頂きました。そして協議を重ねて市制50周年に当る平成17年に何とか復元が出来ないかとの思いが強まる中で、自治会にも総会で提案承認を頂く一方、府、市の関係の方々のご指導を賜りながら協議を重ねつつ、町内の吉一工務店、岐阜高山市の(有)八野大工、京都の川島織物(株)、伊勢市の(株)宮忠他多数の皆様方の御協力を得、又、町内各位の多大の御理解御協力を賜り世紀の大事業とも言うべき『鍬山鉾曳山復元改修工事』が完成出来、他町の10基の山鉾と共にその雄姿を披露できました事は町内一同この上ない慶びであると共に、今後の保全・継承に対して一層の責任を痛感致しながら、後になりましたが、関係の皆様方に衷心より感謝と共に厚く御礼を申し上げましてご挨拶と致します。



写真は本部席前に差し掛かる鍬山鉾 前川潤造氏撮影

北町鉾山鉾の復元にあたり、



## 鉾山保存会囃子方の経過

鉾山囃子方代表

(18年度より保存会代表就任)

林 健次

「北町の鉾にも以前はお囃子があったと昔の書物に書いてあるぞ」「お囃子を復活させよう」という声上がり、難波山の竹内直己氏に指導を仰ぐこととなり、15人ほど集ったのが平成14年の春でした。笛を吹いたことが無かった私でしたが、笛方の代表をおおせつかりました。しかしなかなか音が出ず、笛方のメンバー10人ほどもみな同様に苦勞し、こんな調子で果たしてお囃子が出来るだろうかと心配しました。6月から8月の間に10回練習を重ね、ようやく体制が整ったので次に子どもたちを集めることとなり、8月11日からは大人・子供合同の練習となりました。

北町から男子4人、追分町から男子3人・女子4人と合計11人と、大勢の子供たちが参加してくれました。もちろん我々同様ゼロからのスタートです。鉦と太鼓を練習しますがなかなか揃いません。竹内先生の指導は、それは厳しいもので、何度も雷が落ちましたがそれでもみんなで頑張りました。子供達のお母さん方も熱が入ってきて、練習している子供に合わせて手と口が動いていました。だから子供達も一生懸命にならざるを得ません。23日の宵々山までに22回練習を行ないました。

23日の夕方には真新しい囃子櫓を引いて形原神社まで行き、北町の鉾山囃子を奉納しました。鉾連合会の役員さん達が見守る中での緊張する場面でしたが、子供達のきりりとした動きに笛方の私たちも息を合わせての演奏が出来ました。北町への帰路はお囃子をしながらにぎやかに戻ってきました。

24日宵宮での演奏、25日の巡行の際も大勢の見物客や応援の家族達の前での演奏でしたが、これも立派にやり遂げました。

同年11月16日には、ガレリア亀岡で行なわれた「全国生涯学習まちづくりフェスティバル in かめおか」のオープニングイベントに参加しました。この日も子供達の自信に満ちた演奏には本当にびっくりしました。

平成16年の10月3日には、京都・新風館での「まちはミュージアム～文化と祭とアート」というイベントに参加しました。(子供8人・笛方10人・役員5人)

平成17年にはいよいよ鉾が復元されました。かねてからの念願でありました、鉾に上ったのお囃子の演奏です。私達が子供の頃には、町内には鉾もお囃子も無かったので賑やかに祭をしている鉾町がうらやましく思っていました。しかし町内の皆様のお力で、他の鉾町と同様に鉾に上ったお囃子をするという形で祭に参加することとなり、ついに夢が叶いました。平成14年からお囃子をしていたので鉾に上ったのお囃子もすんなりと出来ました。うれしい限りです。

これからもさらに磨きをかけて、立派な鉾山保存会囃子方にしていきたいと思っています。

平成17年行事写真 | (※P55に2)



城下町巡行を終えて記念撮影



武内山と擦れ違う鉾山鉾  
「屋根が跳ね上がって歓声が起こる！」



方向調整のため車輪に差し込む「梃子(てこ)」

←揃いの「陣笠」を着けての巡行

鍬山鉾曳山復元完成祝賀会 (平成十七年十月二十三日)



音頭取りの掛け声で開会



吉田好夫保存会代表の復元経過報告



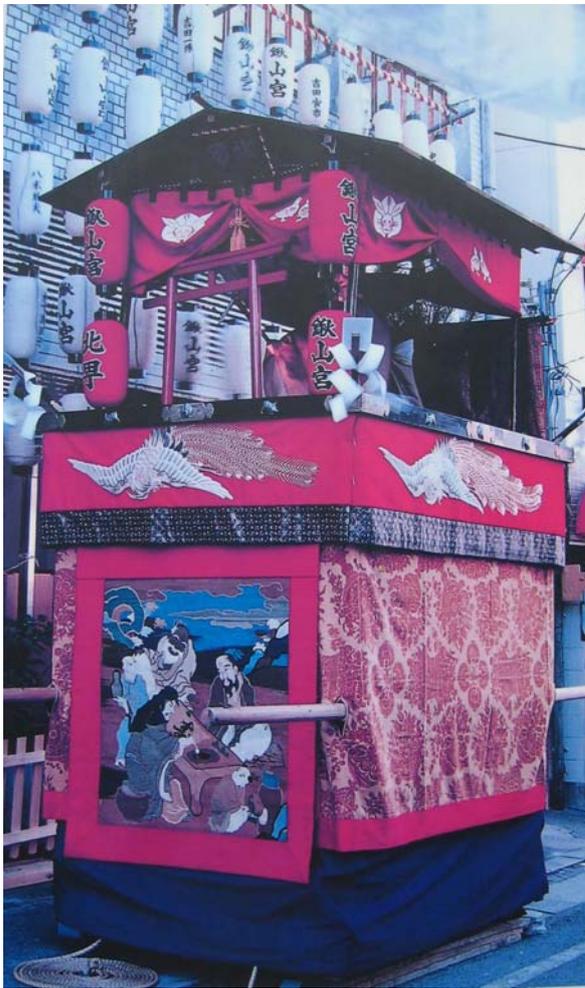
栗山亀岡市長の祝辞

9月19日鍬山神社天岡宮司により  
「入魂式」を執り行なう。



雨の中新調の合羽を着せての披露目  
となった。

平成十六年までの昇山「鍬山」



## 写真で見る曳ぎ山復元工程



檜材の石持組上げ



屋台 2 階部分



屋根部分



狭い道への巡行仕掛（跳ね上げ屋根部分）



棟下部に兎・亀・波の彫刻板 2 枚  
大倉義一氏彫刻 奉納



同 着色



鉾芯中央に吊るす「打出の小槌」

鍬山宮神輿ボンボラに因み新調した銚頭の「宝珠」



飛騨高山八野大工より車輪の到着  
方向転換仕掛 「心棒」 →

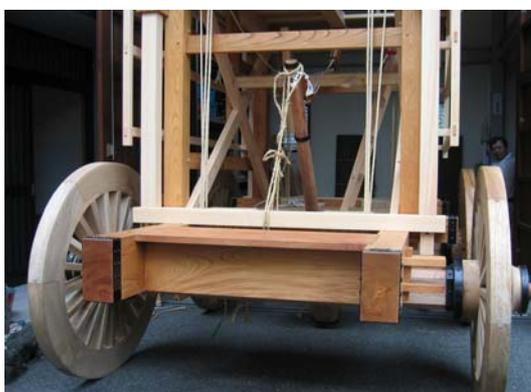


↑ 屋台の完成



屋根を上げ下げする 轆轤

石持と屋台の縄がらみ→



← 「転換心棒」 取付 ↓





縄がらみ（揚羽蝶）



音頭取り台



五彩色の鉦摺り房



網隠し



角飾房と音頭取手綱



巡行用「ミニ鉦芯」



道路拡幅工事（井上昌庭、  
吉田好小屋）で協力



道路拡幅工事  
（吉田好ブロック塀）



吉田均宅内電柱を  
会所内に移転

## 鍬山鉾復元記録

(文中敬称略)

文責 中澤 克己

2004年(平成16年)

- 2月15日 合同会議 午後8時 北町会所  
出席者 2004年度 三役 組長 鉾委員 ※名簿は別項1参照  
鉾復元に向けて説明 見積書資料等参考となる書類を検討委員会に依頼  
検討委員会を設置 ※委員名簿は別項2参照
- 2月22日 第1回検討委員会 午後8時 北町会所  
出席者 吉田好夫 八木市次 八木辰夫 林 健次 吉田一博 中澤克己  
案 件 今後の進め方及び係る費用の検討
- 3月14日 第2回検討委員会 午後7時30分 北町会所  
出席者 吉田好夫 八木市次 八木辰夫 林 健次 吉田一博 中澤克己  
案 件 吉一工務店より図面の説明
- 3月27日 平成15年度北町自治会総会 午後8時 北町会所  
鍬山鉾改修についての資料収集の承認を得る
- 6月9日 第3回検討委員会 午後3時30分 北町会所  
出席者 吉田好夫 八木市次 八木辰夫 林 健次 吉田一博 中澤克己  
案 件 市役所教育委員会 樋口氏との協議に関し報告ほか
- 7月28日 合同会議 午後8時 北町会所  
出席者 自治会三役 保存会顧問 代表 副代表  
案 件 鉾復元に関して
- 8月5日 市役所 午後2時  
案 件 市役所教育委員会 樋口氏と協議 吉田好夫 八木市次
- 8月13日 午前7時30分より工事用の足場を代用した仮台車で  
会所から荒塚迄障害物有無確認のため試行する. その結果  
巡行に際し3ないし4箇所不都合な場所あり改善を要する  
吉田好夫 八木辰夫 八木市次 田中英夫  
吉田一博 林 健次 中澤克己 立会
- 8月16日 第4回検討委員会 午後8時 北町会所  
出席者 吉田好夫 八木市次 八木辰夫 林 健次 吉田一博 中澤克己

案 件 銚の規模 費用等原案検討

8月17日 検討委員 銚委員 組長合同会議 午後8時 北町会所

出席者 吉田好夫 八木辰夫 八木市次 田村 一 吉田一博 林 健次

井上昌啓 斉藤 茂 山本善衛 安井明平 長谷川清美 中野幸夫

服部康生 嶋村浩一 谷内隆夫 谷内信隆 坂口嘉子 中澤克己

案 件 銚の規模 費用等 概略の説明 臨時総会への提案事項の決定

9月 5日 北町自治会臨時総会 午後8時 北町会所

案 件

① 銚復元に関して

復元推進で承認

② 復元に係る資金の調達方法及び規模

当初予算としての見積もり金額

銚制作費 ¥10,839,500-

消費税 ¥541,975-

予備費 ¥618,525-

小 計 ¥12,000,000-

調達方法

各会計繰越金の運用 ¥6,960,000- (金額は三役, 組長, 銚委員任)

各戸よりの拠出金 ¥5,040,000-

小 計 ¥12,000,000-

1戸当り1か月¥2,000-を3年間均等払い。基本形 但し拠出年次は3年を基本とするも各戸の事情を考慮し4,5年も検討すること

拠出年次に関し各戸より希望年次を聞くこと

平成16年10月分より徴収 組長は3か月分ずつを会計へ持参

銚の規模

図面による

別紙添付

実行委員会を設置

※委員名簿は別項3参照

9月11日 臨時総会の報告書と分担金の希望拠出年次書配布

拠出年次は3年均等@2,000- 4年均等@1,500- 5年均等@1,200-

一括払い の4案

9月25日迄に組長に提出 回答なき場合は3年として処理する。

9月16日 検討委員 銚委員 組長合同会議 午後8時 北町会所

出席者 組 長 山本善衛 服部康生 嶋村克美 坂口嘉子 長谷川清美

井上昌啓 中野幸夫

銚委員 谷内信隆 山本善衛 斉藤 茂 森富美夫 吉田一博

八木辰夫 林 健次 田村 一 山田 守 吉田好夫  
八木市次 中澤克己

案 件

① 各会計繰越金の運用案承認 ※別項4参照

② 鉾改修費用拠出金の集計説明

第1回集金日は10月20日とする。

次回より毎月10日とするも各組により考慮することで承認

9月30日 鉾改修費用拠出金の集計

3年均等 24名 4年該当者なし 5年均等 8名 一括払い 36名

支払い保留 1名 合計 69名 ※別項6参照

10月7日 京都銀行亀岡支店に口座開設

鉾山鉾新調会計 会計中澤克己普通口座 3386708 拠出金の受け入れ

10月31日 残高¥3,394,000-

11月3日 第5回検討委員会 午後8時 北町会所

出席者 吉田好夫 八木辰夫 八木市次 吉田一博 林 健次 中澤克己

案 件 図面の確認 懸装品の確認 11月5日に懸装品の計測予定

11月4日 地蔵尊会計, 鉾山宮会計, 会所並鉾収蔵庫会計, 山鉾修繕費会計より

鉾山鉾新調会計へ振り替える。金額は別項4参照

11月5日 午後7時 北町会所

出席者 吉田好夫 八木辰夫 吉田一博 林 健次 中澤克己

案 件 懸装品の寸法計測と写真撮影

11月30日 残高¥8,462,281-

12月5日 第一回実行委員会 午後8時 北町会所

出席者 吉田好夫 八木辰夫 八木市次 吉田一博 林 健次 中澤克己

谷内信隆 楠 善夫 斎藤 茂 山田 守 嶋村浩一 森富美夫

岡本文康

欠席者 田村 一 山本善衛 吉田 均

案 件 吉一工務店に本体部依頼及び部材の購入依頼

車輪 車軸に関しては京都の竹田工務店に打診する。

(以前に八木鉾連合会長と鉾新調に関しての打診あり)

12月9日 竹田工務店 京都 午前9時50分

出席者 吉田好夫 八木市次 吉田一博 中澤克己

吉一工務店の図面持参 車輪 車軸の材料在庫あり

完成までに約4か月必要

車輪の直径は1200、1300mmでも見積金額はかわらず。

後日見積書を送付していただく事とする。

- 12月15日 竹田工務店より見積書入手 但し車輪のみ  
12月16日 竹田工務店へ電話 車軸の見積書の提出を促進する  
車輪の図面に寸法記入の依頼  
12月18日 竹田工務店より車輪の寸法入りの図面届く  
12月25日 竹田工務店へ車輪に関して問い合わせ  
12月27日 竹田工務店より車軸の図面, 見積書がFAXで届く  
見積もり金額 合計¥4,884,600-  
予算オーバーのため岐阜高山の(有)八野大工へ電話  
12月31日 残高¥8,474,281-

2005年(平成17年)

- 1月7日 岐阜高山の(有)八野大工へ電話にて車輪 車軸の件で打診  
1月10日 京都 智積院内喫茶店 午後2時30分  
出席者 岐阜高山(有)八野大工 八野 明 吉田好夫 八木市次  
吉田一博  
案 件 車輪 車軸の図面を渡し見積依頼  
1月14日 特別会計より鍬山鉾新調会計へ振り替える. 金額は別項4参照  
1月21日 (有)八野大工より見積書届く  
1月22日 (有)八野大工より見積書の訂正あり ¥4,552,800-(消費税含む)  
1月22日 第6回検討委員会 午後8時 北町会所  
出席者 吉田好夫 八木辰夫 八木市次 林 健次 田村 一 吉田一博  
中澤克己  
案 件 竹田工務店と(有)八野大工との見積比較  
(有)八野大工に決定する  
但し金額等に関し予算オーバーのため折衝する事とする  
1月28日 岐阜各務原 川島SP 午前10時15分  
出席者 (有)八野大工 八野 明 吉田好夫 八木市次 吉田一博  
中澤克己  
案 件 車輪車軸の見積金額¥4,200,000-(消費税含む)で図面より  
少し変更して発注する.  
車軸は祇園祭後, 車輪は9月10日頃予定.  
支払いは納入後とする.  
1月30日 第二回実行委員会 午後8時 北町会所  
出席者 吉田好夫 八木辰夫 八木市次 吉田一博 林 健次 谷内信隆  
斎藤 茂 山田 守 嶋村浩一 森富美夫 岡本文康 山本善衛

吉田 均 中澤克己

欠席者 楠 善夫 田村 一

案 件 会計報告 ¥10,439,600- 2005年1月28日残高

図面の一部変更 屋根の庇を跳ね上げ式にする巡行に支障があるため補助車と車輪の伝動方法 方向転換の仕組み等再考する  
井上宅庭石 竹岡宅庇 吉田宅倉庫 電柱の移動

吉一工務店 ¥7,894,215- 車軸, 車輪以外で承認(本体部)

(有)八野大工 ¥4,200,000- 車軸, 車輪の承認

※別項5参照

- 1月31日 吉一工務店と契約  
残高 ¥10,439,600-
- 2月1日 7組井上宅玄関前庭園石垣後退の依頼
- 2月2日 吉一工務店 山車新調工事内金として ¥2,075,640- 支払い (1回目)
- 2月3日 7組井上宅玄関前庭園石垣改修の件で(株)斉藤造園と立会い
- 2月10日 (株)斉藤造園より見積書受領  
吉田好夫 八木市次 吉一工務店 鉾ガレリア搬入に際し仕様で会合  
石持とフローアまでの寸法等に関して吉一工務店へ見学
- 2月11日 (有)八野大工に変更図面作成依頼
- 2月14日 (株)斉藤造園見積書の変更連絡
- 2月16日 (株)斉藤造園再見積書受領 ¥110,000-
- 2月19日 第7回検討委員会 午後8時 北町会所  
出席者 吉田好夫 八木市次 八木辰夫 吉田一博 林 健次  
田村 一 中澤克己  
案 件 (有)八野大工と請負契約を2月25日付けで確認  
但し①車軸幅 2650 mm ②車輪の傾斜角 ③車輪飾り金具 の3点確認
- 2月21日 2月25日付(有)八野大工と請負契約書案送付
- 2月25日 吉田好夫 八木市次 2名市役所へ会所の電柱移設を陳情  
関西電力より3月2日午前10時立会いの連絡あり
- 2月28日 残高 ¥8,373,982-
- 3月 2日 電柱移設を関西電力と鉾説明看板前に内定する。  
市役所とNTTへ吉田好夫より移設地点を報告。  
(有)八野大工との請負契約届く
- 3月 3日 吉田好夫 八木市次 2名 北町 内丸 西町通りの架線の高さ調査  
市役所より3月9日午後1時30分から電柱移設に関し再度立会いの連絡あり
- 3月 9日 関西電力, NTT 再度計測 吉田好夫 八木市次 林 健次 立会う
- 3月18日 市役所より関西電力の架線については無料で移設する旨連絡あり。

NTTは未解答.

- 3月19日 八木市次より鉾頭のギボシについての見積書及び形態のコピー提示  
破風部に兎と亀の彫刻板の取り付け提案（彫刻は大倉義一氏）  
内丸町いさみ様に共聴アンテナ線の改善依頼.
- 3月23日 第8回検討委員会 午後8時 北町会所  
出席者 吉田好夫 八木市次 吉田一博 田村 一 林 健次 中澤克己  
案 件 破風前後に兎と亀の彫刻をつける  
部材 サイズは吉一工務店に一任  
彫刻は3組大倉義一様に依頼  
飾り提灯  
高提灯吊りやぐら下げ方は鉾前後に西町と同様にする  
個人名入り 献灯料¥1000- 新調¥5000-  
鉾芯先端にギボシをつける ¥45000-
- 3月25日 ギボシの発注を八木市次に依頼.
- 3月31日 残高¥8,479,982-
- 4月 5日 市役所より関西電力の架線を5月末までに移設する連絡あり.  
NTTより移設に関し無料の連絡あり.  
株式会社齊藤造園より10日頃井上宅の庭園改修の連絡.  
八木市次より鉾の防水シートカバーの写真（犬山祭り）提示.
- 4月15日 株式会社齊藤造園より4月18日着工の連絡.
- 4月16日 井上宅 吉田宅へ挨拶 スーパーマツモトの商品券¥30000×2
- 4月18日 19日 20日 井上昌啓宅庭園セットバックの工事
- 4月22日 市役所より計画書受理
- 4月26日 市役所へ計画書提出
- 4月27日 吉一工務店 山車新調工事内金として¥2,100,000-支払い（2回目）
- 4月30日 残高¥6,495,162-
- 5月 2日 株式会社齊藤造園¥110,000-支払
- 5月13日 株式会社宮忠（宝珠）¥51,660-支払い
- 5月21日 第三回実行委員会 午後8時 北町会所  
出席者 吉田好夫 八木辰夫 八木市次 吉田一博 林 健次 谷内信隆  
齊藤 茂 山田 守 嶋村浩一 森富美夫 岡本文康 山本善衛  
吉田一博 中澤克己  
欠席者 楠 善夫 田村 一  
案 件 経過報告と4月26日京都府へ改修計画書提出についての説明
- 5月31日 残高¥6,334,137-
- 6月 3日 吉田好夫宅ブロック塀一部撤去工事

6月 3日 午後2時 北町会所 京都府教育庁指導部より鉾に関して聞き取り  
京都府教育庁指導部 文化財保護課 有井主任 亀岡市役所 樋口係長  
出席者 山鉾連合会 八木会長 吉田好夫 林 健次 中澤克己

今日までの鉾の復活並びに平成14年よりのお囃子の復活について  
吉田好夫より説明あり 以下要約

江戸時代は(1765年)〔明神山〕として曳き山であり巡行され、その後(1799年)に舁き山となり〔鋏山〕として以降ながきにわたり会所に保管され祭りには会所にてご神体、懸装品を飾っていた。

昭和61年に有志により再現を期し組み立て不足部材は補充し北町通りに出し巡行に参加する。度重なる検討の後、平成14年に念願のお囃子の復活に向け楽器の購入及び櫓を発注する。

難波山の竹内直己氏に依頼し鋏山鉾お囃子7曲作成していただく。

その後一部変更等された後平成16年秋祭りには7曲すべて披露する。

お囃子の練習、鉾飾、巡行等々を通じ地域及び親子の融和が密となる。

以上推移の中で本年市制50周年を期に江戸時代の曳き山の形に復したい。

有井氏より質問あり

江戸時代の形態に戻すのならば図面、見積書の補助車輪は不必要

鉾頭の【ぎぼし】の意味

屋根【はねあげ式】の必要性

6月10日 第9回検討委員会 午後8時 北町会所

出席者 吉田好夫 八木市次 八木辰夫 吉田一博 林 健次

田村 一 中澤克己

案 件 6月3日の報告と京都府より指摘の補助車輪を削除した見積書、  
図面を吉一工務店に依頼し再度京都府に提出することとなる。

6月18日 吉一工務店へ鉾の進捗状況を視察

出席者 吉田好夫 八木市次 林 健次 中澤克己

6月27日 28日 吉田好夫宅倉庫工事

6月29日 吉一工務店山車新調工事内金として¥1,575,420-支払い(3回目)

6月30日 北町鋏山鉾蔵前 午前10時

吉田好夫 八木市次 林 健次 中澤克己4名で亀岡市より拝受する鉾名称板  
(900×244×35 檜)の取り付け位置の確認、正面向かって扉右側上部に  
横型とする。

個人名記入の提灯の破損状況と新調方法について検討。

電柱移動に関して関西電力下請け会社より事前工事。

6月30日 残高¥4,776,717-

7月10日 (有)八野大工 午前10時車軸の納入 吉一工務店へ搬入  
 7月11日 (有)八野大工車軸代二分の一¥2,100,000-振り込む(1回目)  
 7月24日 第10回検討委員会 午後7時30分 北町会所  
 出席者吉田好夫 八木市次 八木辰夫 吉田一博 田村 一 林 健次 中澤克己  
 案 件

①補正予算 ②今後の納入予定 ③その他

当初予算は

銚本体 補助車 屋根(はねあげ)とアルミ梯子  
 (はねあげ分¥404,250-含む) ¥7,894,215-  
 車軸 車輪 ¥4,200,000-  
 計¥12,094,215-

追加分及び諸経費概算

竹岡様宅分¥30,000- 井上様宅分 ¥110,000- 吉田様宅分 ¥205,000-  
 銚用シート¥150,000- 電気工事¥50,000- 音頭取り衣装2着¥250,000-  
 ギボシ ¥48,510- 懸装品補修¥200,000- 記念品 ¥250,000-  
 祝賀会 ¥50,000- 予備費 ¥200,000- 計 ¥13,637,510-  
 その他に 高提灯つり櫓, 摺り棒の房, 前掛け見送り幕4隅の房,  
 上水引の飾り紐, 音頭取り用飾り紐, 網隠し等合計14,400,000-  
 差し引き追加として¥2,400,000-が必要となる

今後の納入予定

本体7月26日予定  
 車軸9月10日予定  
 車輪9月中旬

7月26日 吉一工務店より銚本体納入  
 下水引と欄縁の調整  
 7月30日 午前9時より懸装品の取り付けと調整  
 午後2時川島織物より2名来所  
 音頭取りの綱 上水引の飾り紐 摺り棒の房 前掛け見送り幕4隅房  
 裾幕見積もり依頼  
 午後5時頃銚収納  
 7月30日 残高¥2,729,877-  
 8月4日 市役所より補助事業の採択通知受理(7月29日付)  
 8月10日 吉一工務店¥1,050,000-支払い(4回目)  
 吉一工務店¥158,000- (吉田好夫宅倉庫工事)支払い  
 8月16日 第11回検討委員会 午後8時  
 出席者吉田好夫 八木市次 八木辰夫 吉田一博 田村 一 林 健次 中澤克己

## 案 件

¥2,400,000-の調達方法

10月23日の復元完成式典及び宵宵宮、宵宮の予定と記念品の検討

¥2,400,000-の調達

1口2万円として申し込み用紙と寄付趣旨の文書を各戸に配布

締め切り9月15日とする。集金は後日

復元完成式典の記念品

ちまき お膳かけ 清酒1合瓶 しののめ

23 24日夜の来賓

しののめ 清酒 お膳かけ

10月23日 鉾完成式典午前11時より京信跡

10月23日、24日北町通り午後5時～10時通行止め依頼

ガードマン2名

25日追分町へは巡行せず。

9月19日鉾のお祓い予定

9月11日車輪の納入依頼

8月17日 (株)川島織物より7月30日依頼の見積書届く ¥1,218,000-

8月22日 (株)川島織物より2名 吉田好夫 八木市次 林 健次 中澤克己

見積の金額について交渉の結果 ¥840,000-消費税込みとする。(今回  
裾幕は断念する)

明細

すり棒飾り房 5本@23,100 ¥115,500-

音頭綱飾り房 2本@115,500 ¥231,000-

四隅飾り房 4本@152,250 ¥609,000-

上部水引たくし上げ飾り房 3本@21,000 ¥63,000-

値引き¥178,500-

合計¥840,000-

23, 24日 地蔵盆で7月24日議題の補正予算の件につき吉田好夫より説明あり

¥2,400,000-を1口¥20,000-で任意の寄付を募る。

後日各戸に依頼文と申し込み用紙を配布する。

8月23日 陣笠100個注文する。〔鍬山〕の名入れとする。

8月29日 各戸に任意の寄付申込書封筒に入れ9月15日締め切りで配布

8月31日 残高¥1,539,082-

9月 7日 コットンハウスいじり(網隠し部仕立て一式) ¥40,000-支払い

9月11日 午前11時ひろせつより防水シート納入

午後1時過ぎ(有)八野大工車輪4個納入

- 車輪取り付け後、鉾蔵より出す。  
本日が車輪をつけ初めて動かす。
- 9月12日 ひろせメント工業(株) (鉾防水シート) ¥102,900-支払い
- 9月19日 午前9時より自治会全員で鉾を出し飾る。  
1時30分より鍬山神社天岡宮司のお祓いを受ける。玉串料4万円  
2時20分頃より吉田好夫宅付近まで鉾を曳く。  
往復に約1時間30分要する。  
収納後実行委員会10月23日鉾復元完成式典招待者リスト及び  
内容の検討
- 9月24日 任意の寄付依頼状作成(京都銀行、京都信用金庫、山本茶舗様 他用)
- 9月26日 吉田好夫 中澤克己の2名京都銀行 京都信用金庫 北町山本茶舗他へ寄  
付依頼にまわる。
- 9月26日 祝賀式の招待状発送 招待状名簿 ※別項8参照
- 9月29日 (有)八野大工¥2,100,000-支払い(2回目)  
吉一工務店¥1,153,845-支払い(5回目)  
亀岡高校平田先生に扇子5本に〔鍬山〕の文字を入れて頂く
- 9月30日 残高¥1,211,077-
- 10月 3日 吉一工務店鉾の補助輪取り付け。  
寄付金300万円(150口)となる。
- 10月 7日 (株)宮脇売扇庵(音頭取り用扇子5本加工代) ¥21,000-支払い
- 10月10日 23日曳き山復元完成式典及び関係の記念品等決定 ※別項10参照
- 10月11日 中村孝一先生に鉾石持ち部に復元趣旨及び寄付者の記名 お礼¥30,000-
- 10月12日 京都府より社寺等文化資料保全補助金交付金¥949,000-決定  
亀岡市は¥270,000-内定
- 10月13日 (株)川島織物より〔房〕関係納入
- 10月15日 自治会役員 組長 鉾委員会議 午後7時30分 北町会所  
秋祭りに関し最終打ち合わせ  
寄付金¥3,300,000-(165口)
- 10月17日 音頭取り衣装代(2着) ¥250,000-支払い
- 10月18日 陣笠100個 ¥88,750-支払い
- 10月20日 連合会より巡行の詳細あり、亀岡高校日本文化コースより曳き手11名  
内1名写真係りとなる
- 10月22日 午前9時 北町会所集合 各戸1名出席 京信跡の片付け及び準備
- 10月23日 午前11時鍬山鉾復元完成式典 京信跡 ※別項9参照
- 10月25日 寄付金¥4,340,000-(217口) ※別項7参照
- 10月31日 残高¥1,312,092-

- 11月3日 市制50周年記念事業で「亀岡 祭の博物館」がレリアに参加  
 がレリアまで市役所前より国道をとおり曳いて行く  
 午前7時会所集合で鉾を曳きガレリアへ  
 式典終了後（午後12時より）30分間ずつ各鉾で囃す  
 北町は2時30分より3時（小雨となり30分早くなる）
- 11月4日 川島織物㈱¥840,000-支払い
- 11月30日 残高¥713,481-

## 別 項

### 別項1 平成16年度自治会3役

会 長 八木辰夫 副会長 田村 一 副会長 林 健次 会計 中澤克己  
 組 長 1組 谷内信隆 2組 山本善衛 3組 服部康生 4組 嶋村克美  
 5組 坂口嘉子 6組 長谷川清美 7組 井上昌啓 8組 中野幸夫  
 鉾委員 委員長 吉田好夫 副委員長 中澤克己 林 健次 顧問 八木市次  
 1組 谷内信隆 2組 安井明平 3組 楠 善夫 4組 齊藤 茂  
 5組 住 充宏 6組 岡本文康 7組 吉田 均 8組 吉田一博

### 別項2 検討委員会名簿

吉田好夫 八木市次 八木辰夫 中澤克己  
 吉田一博 林 健次 田村 一 以上7名

### 別項3 実行委員会名簿

吉田好夫 八木市次 八木辰夫 中澤克己 吉田一博 林 健次  
 田村 一 谷内信隆 山本善衛 楠 善夫 齊藤 茂 山田 守  
 嶋村浩一 森富美夫 岡本文康 吉田 均 二階 勤 澤田 透  
 以上18名

### 別項4 各会計繰越金流用

特別会計¥1,900,000- 会議所並鉾収蔵庫会計¥1,600,000- 地蔵尊会計¥700,000-  
 鍬山宮会計¥2,035,589- 山鉾修繕会計¥724,411- 合計¥6,960,000-

## 別項5 工事及び諸関係

吉一工務店 ￥7,894,215- 山車関係  
亀岡市西町 60-11 吉田一博  
(有)八野大工 ￥4,200,000- 車輪 車軸関係  
岐阜県高山市片野町 1-117-1 (代)八野 明  
図面及び契約書は別紙添付  
川島織物株 ￥840,000- 飾り房各種  
京都市上京区東堀川通り一条上がる堅富田町 432  
クリンハットリ ￥73,080- 提灯用電気工事一式  
亀岡市北町 28  
ひろせテント工業株 ￥102,900- 鉾がし一式  
亀岡市下矢田町 2-35-1

## 奉納及び特別祝い金

吉田一博 奉納 鍬山鉾高提灯吊、鉾回転軸、梃子、賽銭箱、房掛箱、妻蛙股板、  
囃子練習杵、屋根塗装、マニラ麻 その他  
祝い金 ￥100,000-  
大倉義一 奉納 妻蛙股彫刻(波に兎と亀)  
達富弘之(東堅町) 奉納 鍬山鉾切絵(記念和手用) (敬称略)

## 別項8 鍬山鉾曳山復元完成祝賀式来賓名簿 (敬称略)

亀岡市長	栗山正隆	京都府南丹広域振興局長	戸田雄一郎
亀岡祭山鉾連合会会長	八木市次	京都府議会議長	酒井国生
京都府議会議員	稻荷義晴	亀岡市議会議長	田中義雄
亀岡警察署長	中川文明	亀岡市議会議員	西田馨
亀岡市議会議員	明田昭	亀岡財産区管理委員長	矢田治夫
亀岡市教育委員会教育長	滝本健二	亀岡市教育委員会教育次長	中澤基行
亀岡市経済部長	本間茂	〃 社会教育課長	俣野秀樹
亀岡市経済部商工観光課長	内藤暁	〃 文化財係長	樋口隆久
鍬山神社宮司	天岡秀雄	鍬山神社氏子総代会会長	深田稔
亀岡祭山鉾連合会副会長	岩佐宏之	亀岡祭山鉾連合会副会長	嵯峨根彰
亀岡祭山鉾連合会会計	引原正次郎	亀岡地区中部ブロック会長	齋藤亀雄
追分町自治会長	山口俊一	鍬山囃子指導者	竹内直己

追分町囃子方保護者代表	長谷川裕子	川島織物(株)美術工芸部次長	岡田正司
川島織物(株)美術工芸部副主幹	柴原 功	(有)八野大工 (代)	八野 明
吉一工務店 代表者	吉田一博	亀屋末永 代表者	大倉義一
京都新聞社丹波総局長	後藤定司	(株)亀岡市民新聞社(代)	吉川泰博

別項 9 鋤山鉾曳山復元完成祝賀式

京信跡にて

式 次 第

オープニング

音頭とり披露

藤本 新一  
吉田 均

開式の挨拶	司 会	中澤 克己
来賓紹介		田村 一
式 辞	自治会長	八木 辰夫
復元経過報告	鉾委員長	吉田 好夫
感謝状贈呈		(株)川島織物様 吉一工務店様 亀屋末永様
来賓祝辞	亀岡市長 京都府南丹広域振興局長 亀岡祭山鉾連合会会長 京都府議会議長 亀岡市議会議長	栗山 正隆様 戸田雄一郎様 八木 市次様 酒井 国生様 田中 義雄様
乾 杯	京都府議会議員	稲荷 義晴様
	林 健次	

別項 10 記念品

10/23 式典 来賓 34名 5本粽 清酒 手拭 赤飯  
 (欠席者4名 厄除け粽 清酒 手拭)  
 町内 70名 5本粽 清酒 手拭 カンター  
 囃子方 14名 5本粽 菓子 手拭 カンター 北町 追分の子達  
 囃子方 3名 5本粽 清酒 手拭 カンター 佐々木 セント.ライガー  
 山内

10/23, 24 献酒等頂いた方(町外) 厄除け粽 清酒 手拭 約55名

カンター 配布

町内 70本 亀高生 12本 (図書券1,000-のうち500-円負担)  
 追分町 23本 車方 5本

単価及び発注数

5本粽 ¥1,250- 120組 (のしがみは北町で印刷)  
 厄除け粽 ¥300- 60組  
 清酒 ¥416- 160本 300cc (鍬山鉾のラベル付)  
 手拭 ¥250- 208本 (達富弘之先生の鍬山鉾きり絵デザイン)



難波山の話に倣って鍬山鉾石持内側に書かれた「鍬山鉾新調の記」

区 分	摘 要	収 入	支 出
各会計運用金	地蔵尊会計	700,000	
	鍬山宮会計	2,035,589	
	会所並びに鉾収蔵庫会計	1,600,000	
	山鉾修繕費会計	724,692	
	特別会計	872,343	
	特別会計	1,027,376	
拠出金	拠出金	4,317,600	
寄付金	寄付金	4,412,000	
補助金	京都府	949,000	
	亀岡市	270,000	
	利息	47	
	小計	16,908,647	
鉾関係			
	吉一工務店		7,954,485
	(有)八野大工		4,200,000
	(株)川嶋織物		840,000
	(株)齊藤造園 井上宅庭園部		110,000
	吉一工務店 吉田宅ブロック塀 納屋部		158,000
	(株)宮忠 儀宝珠木製		51,660
	コットンハウスいじり 網かくし仕立て一式		40,000
	ひろせテント工業(株) 鉾防水シート4枚		102,900
	(株)宮脇売扇庵 扇子仕立代5本		21,000
	音頭取り衣裳2着		250,000
	陣笠100個		88,750
	ジャッキ		10,290
	電気工事		73,080
	手拭(別染め含む), 足袋		295,775
	フェルト, カラーロープ, 軍手		73,071
	小計		14,269,011
式典関係			
	案内状, コピー		54,155
	神酒		66,520
	赤飯		24,200
	粽		168,000
	小計		312,875
振込料	9件		7,250
経費	謝礼		180,000
雑費			89,830
	小計		277,080
	剰余金		2,049,681
	合 計	16,908,647	16,908,647

北町自治会 御中

平成 17 年 1月 吉日

御 見 積 書

工事名 嶽山鉾 山車新調 工事

合計金額 ¥7,894,215也

建築 大工工事業 知事許可(般-12)第15598号

**吉一工務店**

〒621-0862 京都府亀岡市西町60-11  
TEL 0771-22-3522 FAX 0771-22-7570

嶽山鉾		見積		明細書			NO 1	
	名 称	材料	長さ	寸 法	単位	数量	単 価	金 額
1	石持	樺	4000	300X150	本	2		
2	石持	樺	2000	300X150	本	2		
3	柱	樺	2000	105X150	本	4		
4	土台	樺	3000	150X150	本	2		
5	土台	樺	2000	150X150	本	2		
6	貫	樺	3000	105X45	本	4		
7	貫	樺	2000	105X45	本	4		
8	筋交	桧小節	3000	105X45	本	4		
9	巻き上げ 軸受け	桧小節	2000	240X60	本	4		
10	巻き上げ 軸受け 軸	桧小節	2000	120X120	本	1		
11	頭つなぎ	桧小節	3000	150X150	本	2		
12	頭つなぎ	桧小節	2000	150X150	本	2		
13	框	桧小節	3000	50X55	本	2		
14	框	桧小節	2000	50X55	本	2		
15	床板	桧小節	2000	210X30	本	11		
16	手摺架木	桧小節	3000	35X55	本	2		
17	手摺架木	桧小節	2000	35X55	本	2		
18	手摺架木 束	桧小節	450	35X55	本	20		
19	化粧柱	桧無節	3000	90X90	本	4		
20								

吉一工務店

明細書									NO 2
	名 称	材 料	長 さ	寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	
21	根がらみ	栓小節	2000	105X105	本	2			
22	滑車受	栓小節	2000	105X105	本	1			
23	柱囲い	栓小節	2000	150X25	本	4			
24	屋根桁	栓無節	4000	105X105	本	2			
25	妻梁	栓無節	3000	105X120	本	2			
26	棟木	栓無節	4000	105X105	本	1			
27	破風板	栓無節	2000	360X40	本	4			
28	茅甲	栓無節	2000	270X100	本	4			
29	裏甲	栓無節	2000	150X60	本	2			
30	垂木	栓無節	2000	90X40	本	26			
31	化粧柱 野地板	栓無節	2000	180X10	本	32			
32	野垂木	栓一等	2000	90X45	本	26			
33	野地板	栓一等	2000	180X12	本	32			
34	鬼板	栓無節	300	300X60	本	2			
35	ひれ	栓無節	300	200X60	本	4			
36	経の巻	栓無節	150	45X丸	本	6			
37	棟板	栓無節	4000	180X30	本	2			
38	棟板	栓無節	4000	180X60	本	1			
39	冠	栓無節	4000	120X75	本	1			
40									

吉一工務店 2

明細書									NO 3
	名 称	材 料	長 さ	寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	
41	扇掛 木枠	スプ	2200	30X30	本	20			
42	扇掛 木枠	スプ	1500	30X30	本	20			
43	屋根 堤燈受け	スプ	4000	40X40	本	12			
44	屋根の折れる分	材料,金物,手間,共			式	1			
45	鉋芯材料とロープ				式	1			
46	鉋の屋根を巻き上げるロープと滑車				式	1			
47	堤燈の巻き上げるロープ				式	1			
48	補助車と車輪とのギヤートベルト				式	1			
49	金具			鉄製黒ペンキ	式	1			
50	飾り金具				式	1			
51	アルミハシゴ				式	1			
52	補助車			鉄製黒ペンキ	式	1			
53	大工作料				式	1			
54	諸経費				式	1			
55							小計	7,518,300	
56							消費税	375,915	
57							合計	7,894,215	
58									
59									
60									

吉一工務店



平成17年本祭巡行役割表

役割	装束	氏名	摘要	役割	装束	氏名	摘要
1 警備員(先走り)	半纏、腕章	山田 守	20M 前方	35 車方責任者(舵) 前	半纏、股引	澤田 (楽々)	
2 警備員(前方安全)	半纏、腕章	谷内信隆	吉田 博一	36 車方(兼車輪安全警備) 2	半纏、股引	吉一工務店	
3 警備員(後方安全)	半纏、腕章	大下 均	二階 勤	37 車方(兼車輪安全警備) 3	半纏、股引	"	
4 町印旗手	半纏	斉藤茂		38 車方(兼車輪安全警備) 4	半纏、股引	"	
5 名乗り	袴	嶋村克美		39 車方(兼車輪安全警備) 5	半纏、股引	"	竹岡信秀
6 巡行責任者(総世話)	袴	吉田好夫		40 屋根方	半纏、股引	桜井寛治	(亀高生)
7 随行者	袴	田中英夫		41 写真係	半纏		
8 随行者	袴	八木 辰夫		42 音頭取	音頭着物	吉田 均	
9 随行者	袴	川崎正徳		43 音頭取	音頭着物	藤本新一	
10 巡行指揮者(組頭)	半纏	吉田一博		44 囃子方責任者(笛)	黒紋付着物	林 健次	
11 曳方責任者(右) 1	半纏	中澤克己		45 囃子方(笛、屋根紐)	黒紋付着物	山本基衛	
12 曳方(右) 2	半纏	京 都 銀 行		46 囃子方(笛)	黒紋付着物	田口良市	
13 曳方(右) 3	半纏		(亀高生)	47 囃子方(笛)	黒紋付着物	佐々木弘明	
14 曳方(右) 4	半纏		(亀高生)	48 囃子方(笛)	黒紋付着物	山崎博実	
15 曳方(右) 5	半纏		(亀高生)	49 囃子方(笛)	黒紋付着物	ライザー	
16 曳方(右) 6	半纏		(亀高生)				
17 曳方(右) 7	半纏		(亀高生)				
18 曳方(右) 8	半纏			囃子A班			
19 曳方(後方右) 9	半纏	藤谷一馬		太鼓	黒紋付着物		
20 曳方(後方右) 10	半纏	田村 一		太鼓	黒紋付着物		
21 曳方責任者サブ(左) 11	半纏	井上昌啓		鉦	黒紋付着物		
22 曳方(左) 12	半纏	楠 新聞舗		鉦	黒紋付着物		
23 曳方(左) 13	半纏		(亀高生)	鉦	黒紋付着物		
24 曳方(左) 14	半纏		(亀高生)				
25 曳方(左) 15	半纏		(亀高生)	囃子B班			
26 曳方(左) 16	半纏		(亀高生)	太鼓	黒紋付着物		
27 曳方(左) 17	半纏			太鼓	黒紋付着物		
28 曳方(左) 18	半纏			鉦	黒紋付着物		
29 曳方(後方左) 19	半纏	服部 康生		鉦	黒紋付着物		
30 曳方(後方左)後舵 20	半纏	森川 (吉一)		鉦	黒紋付着物		
31 補助車他運搬責任者 1	半纏	岡本文康		鉦	黒紋付着物		
32 補助車他運搬 2	半纏	若竹敏夫		鉦	黒紋付着物		
33 補助車他運搬 3	半纏	楠 新聞舗					
34 補助車他運搬 4	半纏	楠 新聞舗		その他子供曳方あり	子供半纏		

鍬山巡行役割表

## 亀岡祭山鉾行事復興の記録

(文責 八木 市次)

鉾山再興に至る準備資料として山鉾連合会の活動記録を簡単に以下に記録する。

1959年 (昭和34年)	・ 亀岡祭山鉾保存会として発足 ・ 会長 西脇 賢次氏
1983年 (昭和58年)	・ 亀岡祭山鉾連合会と改称 (山鉾保存会が各山鉾町に結成されたため) ・ 亀岡祭山鉾行事復興へ向けての協議
1984年 (昭和59年)	・ 難波山の囃子が12年ぶりに復活
1985年 (昭和60年)	・ 山鉾懸装品の実態調査実施
1986年 (昭和61年)	・ 飾り山となっていた昇山の鉾山が復活 (50年ぶり) ・ 3基の山鉾が町内を巡行
1987年 (昭和62年)	・ 難波山・三輪山・高砂山の3基の山鉾が集結・町内巡行 ・ 浦島山が復活 (飾り山から組立)
1988年 (昭和63年)	・ 昭和天皇ご病気のため中止
1989年 (平成元年)	・ 翁山80年ぶりに町内巡行
1990年 (平成2年)	・ 市制35周年を記念して山鉾の集結を実施 ・ 郷土芸能保存振興事業補助金、市補助金にて各鉾に台車を新調 ・ 八幡山鉾の囃子方に女兒も加わる ・ 八幡山鉾保存会、京都勸業会館「遊びの博物館」に出演
1991年 (平成3年)	・ 雨天のため町内巡行に止まる
1992年 (平成4年)	・ 旅籠町通りに集結 9基 ・ 三輪山のテレホンカード作成、以後順次作成 ・ スタンプラリー (山鉾めぐり) を開始 (記念品かめっこ)
1993年 (平成5年)	・ 亀岡祭山鉾連合会長野原純一氏に交代、西脇賢次氏参与となる ・ 亀岡市より山鉾銘旗を各山鉾保存会に授与 ・ 旅籠町通りに集結10基 (浦島山の参加) ・ タウン誌『丹の街』31号に山鉾特集を掲載 (協賛広告依頼) ・ 『記念和手拭』作成

1994年 (平成6年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山鉾懸装品の詳細調査実施</li> <li>・『歴史的まちなみと個性あるまちづくり』街路整備事業（本町線）</li> <li>・本町通に集結10基</li> <li>・山鉾躯体部 実測調査</li> <li>・亀岡市史編纂事業 囃子調査</li> <li>・山鉾絵はがき作成</li> </ul>
1995年 (平成7年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柳町線・魚屋町線・塩屋町線 街路整備事業</li> <li>・市制40周年を記念し旅籠町通に集結、後 柳町通への巡行</li> <li>・スタンプラリー記念品 キーホルダー</li> </ul>
1996年 (平成8年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・呉服町線・京町線 街路整備事業</li> <li>・山鉾躯体部 実測調査</li> <li>・内丸町・旅籠町の2ヶ所に集結</li> </ul>
1997年 (平成9年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新町中矢田線 街路整備事業</li> <li>・『歴史的まちなみと個性あるまちづくり』街路整備事業完成を祝し各山鉾10基が旅籠町通りに集結。後、呉服町、京町、矢田町、塩屋町、柳町を巡行</li> <li>・テレホンカード各山鉾完結</li> <li>・剣鉾の鉾差し復活（神輿行列）</li> </ul>
1998年 (平成10年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『亀岡祭山鉾行事』 亀岡市無形民俗文化財指定第1号</li> <li>・旅籠町に集結後城下町巡行</li> <li>・宵宮スタンプラリー、亀岡歴史街道千社札ラリー実行委員会の千社札ラリー実施</li> <li>・市無形民俗文化財指定記念『山鉾カレンダー』の発行</li> </ul>
1999年 (平成11年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街路整備事業が完成した旅籠町に11基が集結（羽衣山は旗参加）</li> <li>・羽衣山囃子復活</li> <li>・『山鉾カレンダー』の発行</li> </ul>
2000年 (平成12年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市制45周年に際し市長より宵々山実施の要請があり、各山鉾町でイベントの実施。雨天のため盛り上がりには欠けた</li> <li>・亀岡商業協同組合主催宵々山ライブ「元X日本のトシ」実施</li> <li>・山鉾雨具（ビニール製）の新調助成を受ける</li> <li>・旅籠町で集結し記念式典の後、来賓先導により巡行実施</li> <li>・亀岡市観光写真コンテストに山鉾連合会長賞を提供</li> <li>・『山鉾カレンダー』の発行</li> <li>・京都新聞発刊120年記念特別展覧会『異国の風』京都文化博物館に<b>鉾山胴掛</b>、三輪山胴掛、蛭子山見送を出品。[※写真P30]</li> </ul>

- 
- 2001年  
(平成13年)
- ・ 亀岡祭山鉾連合会長に八木市次氏就任、野原純一氏は相談役に
  - ・ 宵々山を順次発展させていくことに各山鉾町の同意を見た
  - ・ 23日宵々山実施、24日宵宮スタンプラリー（景品カレンダー）
  - ・ 25日は旅籠町東詰め集結。式典後観客に囃子ながらの巡行を実施  
山鉾の解説アナウンスをつけた
- 

- 2002年  
(平成14年)
- ・ 約130年振りに羽衣山の鉾躯体が復元・新調
  - ・ 亀岡祭山鉾11基全てが揃い、旅籠町に集結、巡行
  - ・ 難波山が初めて上矢田に出御
  - ・ 200年ぶりに鉾山囃子が復活。囃子櫓を作成、宵々山に形原神社で奉納囃子実施。本祭当日も追分町へ巡行、囃子を披露。
  - ・ 11月16日 平成14年度生涯学習まちづくりフェスティバルのオープニングイベントに亀岡祭曳山囃子を代表して鉾山囃子が出演。
  - ・ 文化庁文化体験プログラム「亀岡祭囃子体験」実施
- 

- 2003年  
(平成15年)
- ・ 8月31日ガレリアかめおかで『第45回近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会～祭のにぎわい お囃子・獅子・芝居～』開催。亀岡祭曳山囃子代表で三輪山囃子保存会が出演。八幡山・鉾山の2基が会場に展示される



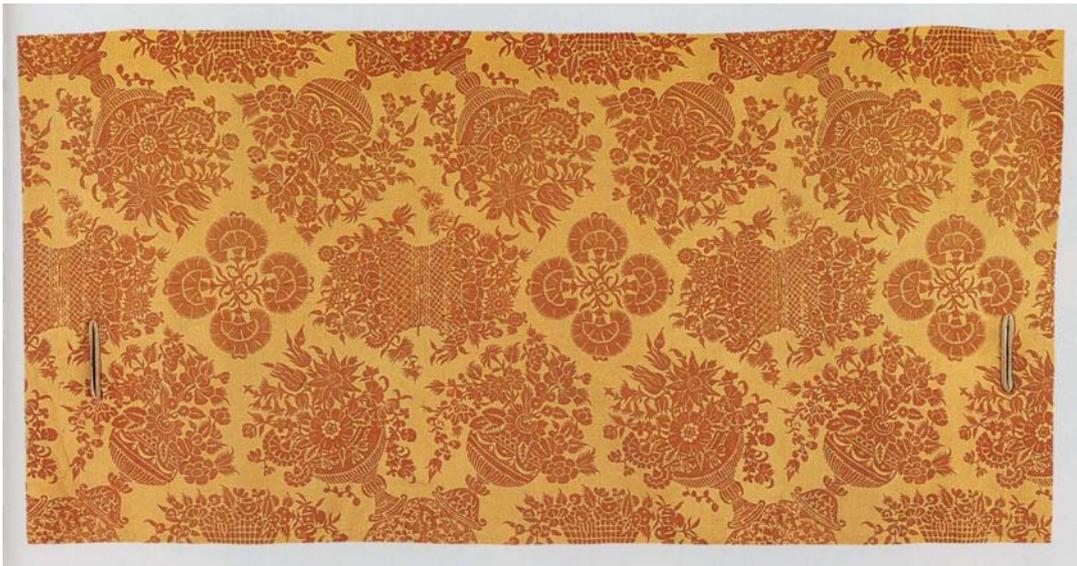
- ・ 昨年に続き15年度文化庁文化体験プログラム「亀岡祭囃子体験」実施、体験した子供は23日宵々山で囃子を披露喝采を浴びた。
  - ・ 23,24日に「京都花灯路」500基設置、祭情緒を盛り上げた。
  - ・ 本祭の曳手に市内ホームステイの外国人16名。亀高日本文化コース生徒も例年同様参加。
  - ・ 16年3月19日付けで京都府無形民俗文化財に登録された
- 

- 2004年  
(平成16年)
- ・ 5月15～16日富山県城端祭見学と古川・高山へ1泊2日の旅実施
  - ・ 連合会独自の子供囃子文化体験講座実施（5日間）
  - ・ 10月3日京都新風館で鉾山囃子出演
  - ・ 本祭全11基呉服町集合後旅籠町本部前で『名乗り・パフォーマンス』を行なった後、城下町巡行
  - ・ 17年1月30日全国人形芝居フェスティバル(ガレリアかめおか)見学
  - ・ 17年3月24日「亀岡市生涯学習奨励賞」を本会が受賞
-

2005年

- ・市制50周年記念補助事業として各山鉾蔵名称板・山型提灯飾り2基を作成。
- ・八幡山鉾蔵完成（竣工式10月23日）
- ・昇山の鉾山が2百余年ぶりに曳山に復元新調（披露式10月23日）
- ・23日宵々山に三輪山が形原神社まで初の夜間巡行。
- ・24日NHKおはよう日本に「八幡山」が出演。多くの遠来の観客が亀岡祭見物に来ていただけた。
- ・25日本祭は呉服町集合旅籠町西行本部席前での「名乗り・パフォーマンス」に観衆の喝采を浴びた。特に鉾山鉾は補助車を付けず実車で巡行には皆の感動を得た。
- ・11月3日ガレリアかめおかにての「祭の博物館」に羽衣山囃子出演。また、駐車場広場で山鉾7基が集結。市制50周年に花を添えた。

※京都新聞発刊120年記念特別博覧会『異国の風』に出品された鉾山胴懸



4-8 亀岡祭鉾山胴懸 花籠と花瓶文様紋羅紗  
English wool textile printed with crests of flower baskets and  
flowers-in-vase, lateral hanging for Kuwa Yama float, Kameoka Festival  
125.0×259.0  
19世紀初頭 イギリス  
亀岡祭鉾山保存会蔵 □京都のみ

この胴懸は、文化8年（1811）に京の商人より銀百三十匁で購入したとの古記録が現存している。元は鮮やかな黄色地に88cmもの大きな型で真っ赤に文様を表し、現状より数段鮮烈であったであろう。これとまったく同じ紋羅紗が、伊賀上野の天神祭に西町のだんじりに随行する「しるし」の胴懸に使われている。京に届いた異国の染織品は、京近在の風流の造り物に引く手あまたであったのである。（K. Y）

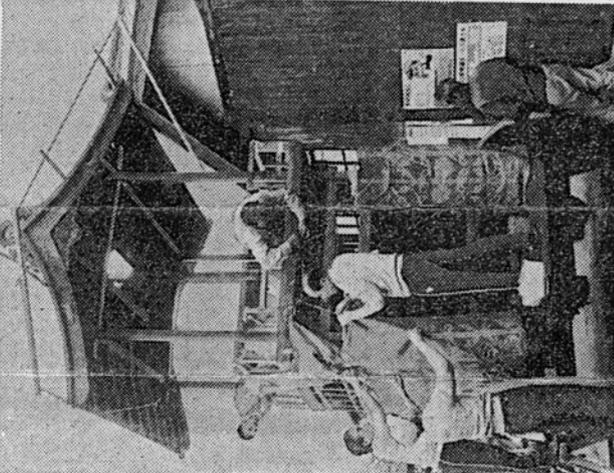
連合会発足と山鉾健康診断を伝える昭和五八年十一月二日京都新聞

なお、紺屋町 中井利雄氏編『新聞記事から見る亀岡祭の山鉾』（昭和三九年以後）に祭変遷を新聞記事を通して詳しく見ることが出来る。

着尺 楽斤 山鉾 昭和58年(1983)11月2日 水曜日  
**山鉾保存に新たな動き**

## 各町集り連合会発足

丹波の祇園祭として親しまれる亀岡祭に山鉾は欠かせない存在だ。今年も先月二十四日の運営には十一基の鉾が勢ぞろいした。はやしが流れ、一昇舞やかに見える山鉾だが、これをいかに保存、修理していくか、鉾町の関心は深刻。ただ、この中で、今年、はじめて連った新しい「動き」もあつた。各鉾町保存会を二つとした「山鉾保存会」が先月発足したと、亀岡市が鉾の現状調査に乗り出したことなど。よやく、前向きな動きを始めた山鉾保存の周辺をさぐってみた。



## 初めて「健康診断」 はやしの後継者育成も

その「健康」によれば「三つ」の重要なものがあつた。「はやしの機」が自立した。一基一基で本格的な修理がはじまり、「こい」の方々が集り、市制六十周年山鉾

市教委は府の協力を得て二十四日の鉾組立てを中心とした現状把握に乗り出した。府から山本真男文教課課長、市から米光尚文化財保護課長ら、市の文化財関係者が参加。本格的な調査に必要とする調査(市教委)だが、各鉾の「健康診断」はこれ初め。また、鉾町ごとに自ら調査を立て運営をすすめる山(子町)をモデルに、8月撮影された。

山鉾の連合会組織は、初めてなれば、西隣である「連合会」としてのようには修理していかなくてはならない」と連合会組織の活用は熱望をよびます。

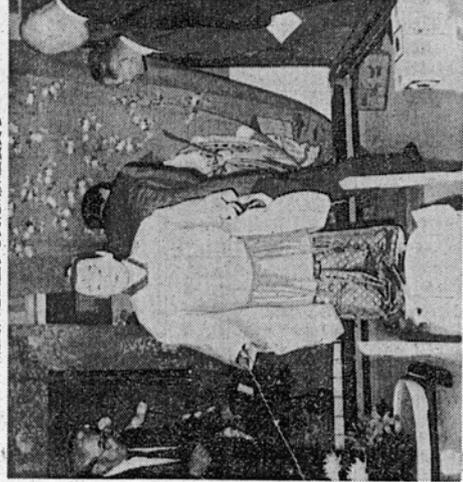
「昔のようには修理ができておらず、復元をすすめていこう」と思っているのは、町への動きもあり、米光尚さん「鉾町以外の市民を含めた後援会のようなものができれば……」と、全市民的な動きの芽は、これ期をのける。

保存、修理だけが、山鉾の課題ではない。古きからいかに鉾の組立て方々、はやし、祭りのおもしろさを受け継ぐか、今大きな課題だ。と、かねて長年、鉾などのはやしは、そして微妙に異なるように、後継者の育成とあつての手。

高砂山の鉾町では、昨年「から毎月一回、若狭町まで心算を中心とした「団体」でおぼえないと「ちまひ」を大人十人ほどは、この鉾町に組織。たに、祭り、一丁が五つとあるの鉾町開始だが、修理は、母月練習をめぐり、このは、多しく、健康をともな、伝統を守る大切の動きだ。

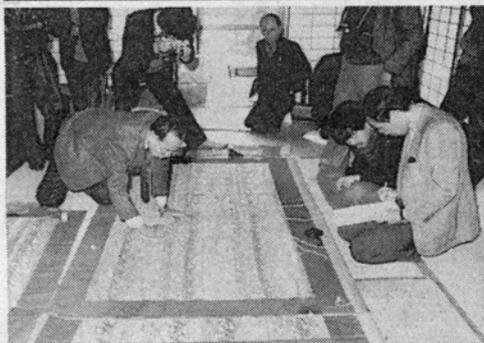
高砂町の「イノ」するが、注目した。

鉾町の新しい動きもあつた。先月、各鉾町の保存会を二つとした「山鉾保存会」が発足した。これまでは、保存会の世話をしてきた、米光尚さん、米光尚さんが会長代理。



浦島山を調査する文化財保護委員ら

第3種郵便物認可



1枚1枚を入念に調べ、結果をメモする調査スタッフ



ルーペを使って調査

5

# 亀岡祭の山鉾

## 傷み激しい装飾品

「丹波の祇園祭」として親しまれる亀岡祭の山鉾について亀岡市は、今年一月下旬から各鉾町と専門家の協力を得て全山鉾十一基の装飾品（織物関係）を中心とした本格的な現状調査を進めた。調査は二月下旬までの一月間三回にわたったが、一部調査に立ち会った印象は「著しい破損が目立つ」のひびと。調査員からは「修理出来るのは三分の一くらい」の声も聞かれる。今月末にも予定される詳細な調査報告書に先立ち、触診による装飾品の現状市の今後の保存・修理対策などをレポートする。

## 修理可能はごく一部

### 市の長期修復計画も必要

飛騨の高山祭と並ぶ貴重で、今回のように全十一基で現状把握が主眼。市教委、地元各鉾町の代表者、それに京都の川島織物の調査研究班の十五、六人と、数年前から部分的に行われていた調査は、長年懸案だった保存対策の計画立案の手をた



ボロボロになって図柄もわからない水引



### 水引の破損

### 退色目立つ

して、一回目翁山、蛭子山、稲荷山、羽衣山、二回目浦島山、武内山、高砂山、三かき見ると、全体的にかなり傷みが見え、色褪せが目立つ。研究班のチーフ、川島織物の渡辺裕方制作部

「以前から見せてはもらっていましたが、こうして細かく見ると、全体的にかなり傷みが見え、色褪せが目立つ。研究班のチーフ、川島織物の渡辺裕方制作部

調査項目は前掛け、開掛け、後掛け、見送り、水引の織物の品質をはじめ、破損状態、修理の可能な有無、色の状況などで、専門の研究班のスタッフが、各山鉾一基で平均二十坪は所有するという装飾品を一点一点を、ルーペや顕微鏡を使いながら入念にチェック、調査結果をメモしていた。

行政の取り組み後手に、一方、市でもこうした現状に手をこまねいていたわけがなく、部分的な修理や保存のための予算措置をとっている。昨年は高砂山の見送り、補修費の一部を担うなど対策を講じてはいるが、国の指定を受け保存行政

話題を追って

話題を追って

## 昇山 鋤山の再興に関する記録

(文責 八木 市次)

昭和61年5月11日

町内有志を呼びかけ、北町会所屋根裏に長年放置されている鋤山屋台材を組み始め 試行錯誤で12日までかかったが何とか組みあがり、本年の祭には是非出そうと云う事になった。

その前後、市教育委員会へ谷内信隆氏と度々足を運び補助申請の指導を受ける。

5月14日付けで

京都府社寺等文化資料保全補助金申請を提出。「鋤山宮山の屋根改修及び台囲い設置」事業総額560,000円。



7月15日

亀岡祭山銚連合会主催の祇園祭見学会に谷内信、八木が参加。

8月20日

府文化財委員 植木 行宣氏が鋤山を見に会所へ来られて、「“かき山”にする事を目的に補助金を出すわけだから『担い棒』を作れ」との助言を受ける。

8月23日 (地藏盆) に

坂部秀俊自治会長に対し要望書を「昇き山」飾りを望む有志として提出。(※参考1)

8月30日

町内組長会の席で本年は京信跡で屋台を組んでお飾りをする事に決定された。



10月19日 (日)「鋤山宮」京信跡で飾付～25日本祭

10月末保存会結成の要望書(※参考2)を自治会に願います。

※参考1

北町鍬山宮に関しての要望書

口丹波地方の秋祭りのフィナーレをかざる亀岡祭りは江戸時代に始まる伝統の祭事で特に重要な役割をはたすものは各町の山鉾であり、町衆の心意気で大切に受け継がれてきました。

亀岡祭山鉾連合会(西脇賢次会長)は全町の山鉾が祇園祭のごとく再び巡行できる祭になることを目標にその保護継承運動を進められる中で当町にたいして、

現在、飾り山として会所内でひっそりとお祭している『鍬山宮』をぜひ「かき山」として復活されたいとの進言が長年続いており、時の北町代表として連合会へ出席したものは皆そのことが心の負担となりながら今日を迎えております。

本年にはいり町内有志が何とか今年は屋台を組んでみようと言う事になり自治会長にお願いし去る5月に「鍬山宮を組み立ててみる会」を催しましたところ、町内多数のご参加を頂きました。何しろ初めての人がほとんどで試行錯誤の末、2日ばかりで組みあがり、これなら何とかお祭に出せるとの見通しを得、修復についての補助申請も行い現在府で審査中となっております。

年々祇園祭が盛んになるごとく最近全国的にふる里の祭が見直され、新興住宅地においても子供神輿等新しい祭を作って住民間のコミュニケーションをはかる努力がなされております社会的背景の中で、

一方では町内多端の折からとのご意見も充分に理解できる場所では有りますが、機運高まるこの時期にやらねば永久に出来なくなり、二百余年の昔から町内先輩方により受け継がれて来た文化財遺産を次の世代に送れなくなることはなんともさびしく、また申し訳ないと思うとき、修復その他費用面に関しては保存会を作る等これからの取組み方として、とりあえずその出発点として、

1、今年の亀岡祭りに北町鍬山宮を50年振りに「かき山(屋台を組んで)」としてお飾りする。

2、今後鍬山宮修復に取り組んでいく。

右2点を自治会において決議していただきますようお願い申し上げます。

昭和61年8月23日

北町鍬山宮の「かき山」飾りを望む有志

代 表 楠 博  
" 吉田 好夫  
" 八木 市次

亀岡祭山鉾連合会北町代表委員

谷内 信隆

北町自治会長

坂部 秀俊 殿

(※参考2)

鍬山保存会結成の要望書

この度は僭越にも町内山飾りについて、その要望を申し上げましたところ、自治会にてその実現を頂き誠に有難うございました。厚くお礼申し上げます。

実のところ50年ぶりの事とて、どのように出来上がるのか我々も心配致しておりましたが、自治会のお力により、又多数の皆様のご協力で立派なお飾りが出来上がり、町内・外のご参拝、ご来場の皆様より感嘆のお言葉を頂戴し、言いだしっぺの1人として大変感激をいたしました。

尚又、懇親会も盛大で最近の町内行事としては最大の参加者となりコミュニケーションが深まりましたことはご同慶の極みでございます。

その席でもお話ができましたとおり、機運盛り上がるこの時期にすぐにも(一刻も早く)自治会において全町的な「山の保存会」を結成していただき、年次計画を立てて、山の維持、修理に取り組んで、町内先人の文化遺産を立派に次代に送り出されますよう、ご決断をお願い申し上げます。

昭和61年10月

有志代表 楠 博  
吉田 好夫  
谷内 信隆  
谷内 隆夫  
八木 市次

北町自治会会長

坂部 秀俊 殿

# 50年ぶり 鍛山宮 100年ぶり 浦島山

## 亀岡祭のかき山

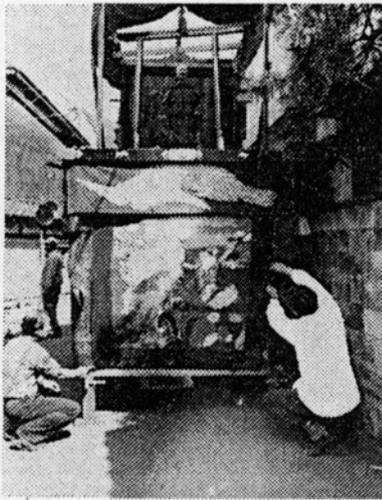
### 住民らの熱意が実り

# 10基が勢ぞろい

丹波路の秋を彩る亀岡市の亀岡祭に、今年は北町の鍛山宮と呉服町の浦島山の二基のかき山が戦後初めて参加することになり、「例年になく豪華けんらんの祭りが楽しめそう」と、祭りシーズンを控えて市民の話題を集めている。北町の鉾は昭和十年以来五十年ぶり、呉服町の鉾は百余年ぶりという。

二基とも従来は、同祭(二 会長)を中心とした同祭への今年にはいつてかき山を出す十四日夜(二十五日)では見 関心の高まりとともに、両町 方向で準備を進めてきた。

送り、前掛け、人形などの懸 とも「組み立て部材など傷み 装束掛けが鉾町でひっそり公 の激しいものはあるが、おら 開されていたところが近年、 が町の鉾も出してみよう」と 亀岡祭山鉾連合会(西脇賢次 いう住民の機運が盛りあがり



今年4月組み立てられた「鍛山宮」



婦人会が作った「浦島山」の胴掛け

北町では、今年四月下旬に 屋台の木材はそろっており、 町内有志の鍛山宮を組み立て てみる会で、試みに組み立て たところ一部建材でないもの や懸装品の破損が目立ったも のの、ほぼ組み立て可能な状 態であることがわかった。こ の結果から有志代表が同町目 治会あてに今秋の祭りへの参 加を要望する一方、有志を中 心にちよっちゃんの調達、見学 者に配布する手ぬぐい作製な どの準備を進めている。

一方、呉服町は、もともと

同祭ではこれまで車輪のお

る囃(はやし)鉾六基、車のないかき山二基の計八基が旧 亀岡町内の鉾町に建てられて いたが、今秋はあらたに二基 加わること懸装品掛けを公 開する羽衣山を除いて十基全 部が出そろったことになる。

鍛山宮 製作年代は、鉾

看板が文化三年(一八〇六)

から、江戸後期とみられる。

人形は丹波開拓に由来する鍛

山大明神で鍛くわを持つ。

浦島山 他のかき山と違

つて屋根がない。

懸装品の見送りに寛政七

年(一七九五)があり、この

ころの製作。人形は釣り姿を

模した浦島と亀。

# かき山4基勢ぞろい



ちょうちんも飾られ準備が整った北町の鍬山

きょう宵宮  
あす本祭り

## 亀岡祭にぎやかに

口田波の祭りのとう尾を飾る亀岡市の亀岡祭がきよの十四日(宵宮)と十五日(本祭り)の両日、旧亀岡町内で繰り広げられる。今年は戦後初めて北町の鍬山(くわまき)と真服町の浦島山の二基が飾られ、かき山四基全部がそろって賑やか(はやし)鉾六基のうち三輪山(本町)さほの高砂山(柳町)、難波山(矢田、京、上矢田各町)、八幡山西町の四基が町内を巡行、「これまでにないけんろ豪華な亀岡祭になる(西脇賢次同祭山鉾連合会)」と戦後最大の同祭を強調している。

### 50年ぶり鍬山 はや美しい姿

同祭は下矢田町の鍬山神社(露する)とになった。の祭礼、旧亀岡町内の町ごとに建てられる山鉾は、車の付四目から鉾建てが始まる中いた鉾鉾が六基、町ごとに飾り、北町の鍬山はひしと足先なるかき山が四基、それに衣装、二十三目、住民たちが同町のなまを展示する飾り山(屋台、中央信用金庫旧建物跡(面積なし)一基の計十一基。この約百六十五平方メートルに、高さ二メートルと真服町は、昨年まで飾り山として参加していた、調りした八十個のちょうちんがせつかく屋台もあるのに、で飾りひしと早く祭りムードという住民の熱意が笑って北町が五十年ぶり、真服町で百年ぶりにそれぞれ屋台を組み立て、かき山として市民に披一流の川崎玉甫さんら同町の

婦人連七人が「錦秋」と題した、フジ、アセビなどを使った大作の造形を生け込んだほか、周りには紅白の袴も張られ、宵宮を待つばかり。新調てお披露するから久しぶりには四基の町内巡行と合わせ早くも話題を醸成している。

### 豊作感謝、秋祭り

亀岡・葺田野町

亀岡市葺田野町の秋の大祭が二十三日行われ、町内の葺田野、御霊、河阿、若宮の四神社で二斉に祭典が営まれるなど町内は祭りムードに包まれた。葺田野神社(桂倉之助宮司)人も見学に訪れ、伝統行事を見守っていた。

このほか、塩屋町の鯉子山が人形本体と衣装、水引、また矢田町など三町の難波山が人形衣装を、それぞれ修理、新調てお披露するから久しぶりには四基の町内巡行と合わせ早くも話題を醸成している。

社務所前でお茶の接待を受ける招待客



**亀岡市**  
 市役所 電話 07712 (2) 5515  
**園部支所**  
 電話 07716 (2) 0434  
**園部支所**  
 電話 07715 (3) 0134  
**園部支所**  
 電話 075 (222) 2161  
**園部支所**  
 電話 075 (222) 2100

京 高 糸 昭和61年(1986)10月24日 金曜日

## 京都府社寺等文化保全補助事業その他による鍬山修復事業

昭和61年度 坂部 秀俊 保存会会長

### 1. 京都府社寺等文化資料保全補助事業

事業内容 鍬山宮山の屋根改修及び大囲い設置

収入		支出	
補助金	350,000円	下層屋台、手摺	229,600円
市補助金	52,000円	柵	150,000円
財管	43,500円	告示板 2枚	22,000円
自己負担	114,500円	屋根張替え 6枚	50,400円
		提灯 30張	108,000円
計	560,000円		560,000円

告示板は鍬山宮山由来について北町縁故安井良三氏にお願いし、書を追分町服部康生氏にお願いした。



昭和62年度 安井 一雄保存会会長

1. 京都府社寺等文化資料保全補助事業

事業内容 鍬山宮人形衣装の新調

収入		支出	
府補助金	420,000円	着物	160,000円
市補助金	84,000円	水衣	110,000円
財管	64,000円	袴	140,000円
自己負担	97,000円	仕立て加工	255,000円
計	665,000円	計	665,000円

特記 以後の修復事業完成まで事業残金（自己負担分）は自治会本会計より負担する事を申し合わせる。

また、八木(呉)仕立代 229,000円より 100,000円をお供えとして自治会へ。



旧水衣



旧袴



旧着物



修復なったご神体

昭和63年度 楠 博保存会会長

1. 京都府社寺等文化資料保全補助事業

事業内容 北町鋤山の綴織見送り幕の補修

収入		支出	
府補助金	940,000円	綴れ見送り幕補修	1,410,000円
市補助金	188,000円	（川島織物）表地綴織欠落部分を綴織にて製織し裏面より当て、裏打ち加工する。表面縁裂を緋羅紗地取替え。上部97センチ金欄地（重宝裂）使用。	
財管	112,000円		
自己負担	170,000円		
計	1,410,000円	計	1,410,000円



旧見送幕綴剥落部分



幕裏面部分



修復部分



見送幕修復完成

平成元年度 福知 賢三保存会会長

1. 京都府社寺等文化資料保全補助事業

事業内容 北町鋤山の綴織前幕補修

収入		支出	
府補助金	1,000,000円	前幕	1,596,500円
市補助金	200,000円	(川島織物)「顔」部分綴織にて復元補修。 その他破損箇所、綴織無地にて製織し、全 面裏打加工。羅紗縁裂は新調。裏地、麻地 新調。仕立加工。	
財管	140,000円		
自己負担	256,500円		
計	1,596,500円	計	1,596,500円

財管計算 消費税を除く350,000円×40%



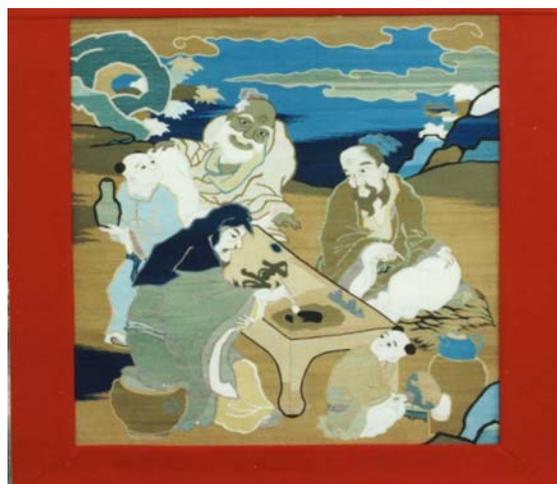
旧前幕綴剥落部分



修復部分



旧前幕



修復完成前幕

平成2年度 住 秀次郎保存会長

1. 京都府社寺等文化資料保全補助事業

事業内容 北町鋤山の水引幕「鳳凰の図」の1点（3点の内）補修

寸法 W181cm×H66cm(正面)

収入		支出	
府補助金	1,000,000円	刺繍水引幕	1,204,310円
市補助金	200,000円	見送房2点新調	252,000円
財管	120,000円	消費税	
自己負担	180,000円		
計	1,500,000円	計	1,500,000円

緋羅紗地、絹糸、本金糸使用、総手刺繍加工にて破損箇所修復、下縁裂は当社重宝裂(正絹)にて新調。仕立加工一式



旧水引幕前幕



旧幕鳳凰羽根部分



旧幕下部紺地金襴



完成水引

2. 市制35周年記念山鉾集結の「かき山巡行用台車3基補助事業」

事業内容 蛭子山、稻荷山、鋤山（3基）の巡行用備品に対する事業

実施額 ￥946,000

収入		支出	
市補助金	256,000円	台車制作費（3台）	512,000円
財管	240,000円	かき棒（6本）	60,000円
3町準備金	450,000円	引き綱（3本）	24,000円
		半纏（110枚）	350,000円
計	946,000円	計	946,000円

平成3年度 上原 治保存会会長

1. 京都府社寺等文化資料保全補助事業

事業内容 刺繍水引幕3点の内右側面修復1点

寸法 W265cm×H48cm

収入		支出	
府補助金	1,000,000円	刺繍水引幕修復	1,545,000円
市補助金	200,000円	(川島織物)表地 緋羅紗地新調。緋羅紗地に旧幕刺繍部分を移し替、手刺繍補修。 裏地 本麻木成地。仕立加工一式。	
財管	138,000円		
自己負担	207,000円		
計	1,545,000円	計	1,545,000円



平成4年度 吉田 好夫保存会会長

1. 京都府社寺等文化資料保全補助事業

事業内容 刺繍水引幕3点の内左側面修復1点

収入		支出	
府補助金	900,000円	刺繍水引幕修復	1,622,250円
市補助金	180,000円	(川島織物)表地 緋羅紗地新調。緋羅紗地に旧幕刺繍部分を移し替、手刺繍補修。 裏地 本麻木成地。仕立加工一式。	
財管	218,000円		
自己負担	324,250円		
計	1,622,250円	計	1,622,250円

平成5年度 福知 敏夫保存会会長

1. 京都府社寺等文化資料保全補助事業

事業内容 鍬山ご神体の補修

収入		支出	
府補助金	800,000円	御神体修復	1,545,000円
市補助金	160,000円	(川島織物)ご神体、頭・手足 頭部、髪植付替及び手・足胡粉塗替。	
財管	216,000円		
自己負担	369,000円		
計	1,545,000円	計	1,545,000円



旧御神体全体



頭正面



横面



手足



修復 正面



横面



胴体



両手

平成6年度 谷内 信隆保存会会長

1. 京都府社寺等文化資料保全補助事業

事業内容 鍬山ご神体胴部と鍬の補修及び上段水引2点1式新調

>

平成8年度 大倉 義一保存会会長

1. 京都府郷土芸能保存振興補助事業

北町会議所新築に併せ鉾収納庫を計画。亀岡祭山鉾連合会会長 野原 純一氏を対象者とする平成8年度郷土芸能保存振興事業補助を受け 鉾山収納庫新築事業を実施。

収入		支出	
府補助金 (郷土芸能保存)	2,628,000円	鉾山収納庫 工事	7,416,000円
市補助金 (寺社文化資料保全)	500,000円		
財管補助金	500,000円		
自己負担金	3,788,000円		
計	7,416,000円	計	7,416,000円



平成9年度 嶋村克美保存会会長

1. 亀岡市社寺等文化資料保全補助事業

事業内容 「鉾山鉾説明板」

収入		支出	
亀岡市補助金	116,000円	鉾山鉾説明板作成	467,250円
自治会負担金	351,250円		
計	467,250円	計	467,250円

2. 「鉾山鉾ビニールシート」新調

自治会負担	106,780円	ビニールシート	101,700円
		消費税	5,080円
計	106,780円	計	106,780円

平成12年度 吉田 好夫保存会会長

1. 京都府社寺等文化資料保全補助事業

事業内容 鍬山鉾修理事業

収入		支出	
府補助金	676,000円	修理	2,050,000円
市補助金	270,000円	(森本鍔金具) (明細別表)	
財管	491,000円		
自治会負担金	612,200円		
計	2,050,000円	計	2,050,000円

修理箇所	仕様	修理箇所	仕様
①屋根、柱、束	木部黒漆塗替、金箔鍍金 面金箔押え	⑥見送鍔金具	金鍍金
②格子	藍紙張替	⑦金幣	新調
③鳥居	朱漆塗替	⑧金幣串(2種)	黒漆塗替
④欄縁	木部漆塗替、金具金鍍金 兎銀鍍金	⑨金幣房	新調
⑤トンボ栓	新調	⑩扁額	文字、面金箔押



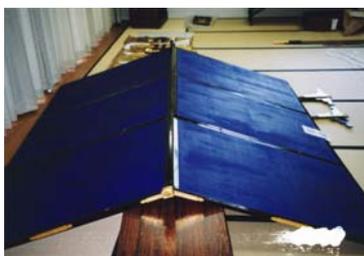
欄縁



鳥居



金幣



屋根張替



額金箔張



トンボ

平成12年度 吉田 好夫保存会会長

1. 単独事業

実施内容 桐懸収納用、箱及び巻芯作製

自治会負担金	97,500円	収納箱、巻芯	97,500円
--------	---------	--------	---------

平成14年度 吉田 好夫保存会会長

1. 京都府社寺等文化資料保全補助事業

事業内容 囃子用楽器の新調

収入		支出	
府補助金	172,000円	摺鉦(重目6寸)外径19cm	5
市補助金	68,000円	締太鼓(外径35cm)	2
財管	30,000円	竜笛(プラ管)	7
自己資金	115,350円	摺棒(頭鹿の角)	5
計	385,350円	計	385,350円



別途購入

摺棒(連合会より)	10	
〃(佐竹より)	10	
竜笛	3	
〃	10	
計		162,050円

尚、上記竜笛については各、個人に買取してもらった。

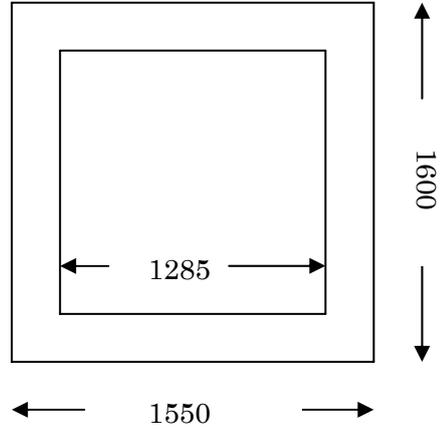
2. 単独事業

事業内容 囃子櫓新調、見送り・人形腕補修の2件

自己資金	542,800円	櫓	
		提灯(尺丸・白地赤兎、赤地白兎10	242,800円
		〃(9寸長)1、太鼓用バチ(追加)	
		見送りほつれ、腕のカケ修理	300,000円
計	542,800円	計	542,800円

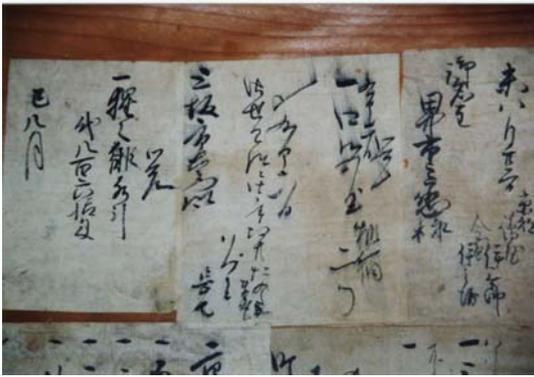
その他の資料

旧前掛 萌葱ビロード地に肉盛刺繍「樹下賢人読書の図」江戸後期

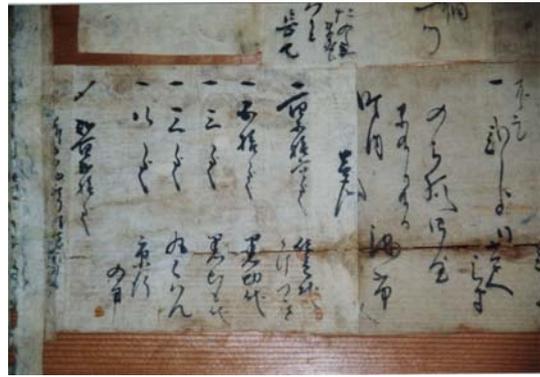


葛箆裏張り書類等





額裏書



鏡・小物箱裏



金幣房箱



旧トンボ



## 写真で見る鍬山の行事

平成2年（'90） 市制施行35周年山鉾集結行事



本町通り・旅籠町の角の2ヶ所に  
分かれ8基が集結。  
鍬山は子供会約30人がそろいの真  
っ赤な法被姿で山を引いた。

上写真は本町に集結した鍬  
山・三輪山・蛭子山・武内山。  
右写真は旅籠町角に揃った高  
砂山・難波山・稻荷山翁山。



平成6年（'94） 高山見学（4月14日～15日） 飛騨高山祭見学に1泊2日のバ  
ス旅行を行なった。



平成14年（'02）鉄山囃子200年振り復活



宵々山に囃子櫓で披露



囃子櫓を従えての巡行



25日追分町で囃子披露



宵宮午前中亀小2年生の見学

11月16日 ガレリアかめおか  
「平成14年度全国生涯学習フェスティバル  
in かめおか」オープニングに出演



平成15年（'03）



旅籠町集結地へ出発！

花灯路500個を山鉾町に設置



平成16年（'04）



富山県城端祭を見学  
上写真の山車は屋根の  
ひさし部分が格納仕掛  
になっており細い道  
を通ることが出来る。これ  
がヒントとなった。



平成15年8月に開催の『第45回近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会』に参加の富山城端祭の庵囃子に感銘を受け連合会で見学会を開催。飛騨古川・高山も回り祭会館での新作山車作製現場見学等、鍬山鉾復元のヒントを探った。この折高山の八野工務店（鍬山鉾車の作成者）の工場も見学した。（5月15日～16日）



上 ライダーの名乗り  
「ほな IKOKA…」

下 囃子櫓で囃子ながら本部  
席前巡行に拍手の嵐



街かどギャラリー（吉田  
忠司宅）での古時計展示  
（楠木弘造氏収集）



左 呉服町集結に向う。矢田町での風景

平成17年（'05）2（※P7続）



平成17年度観光写真コンテスト山鉾連合会長賞に見事1等賞に選ばれた『鉾の巡行』  
前川潤造さんの作品

下写真 カーブミラーに写る鉾山巡行  
亀岡高校生作品



宵山の鉾山鉾 コンテスト作品



11月3日ガレリアかめおかに7基の山鉾集結



## 鍬山囃子復活（平成14年）

亀岡祭山鉾行事は「老壮青少」皆が参加する行事であり、特に囃子方としての子どもの役割は亀岡祭りの花である。鍬山の更なる展開を模索しているとき、

「亀岡市史資料編第五巻」に鍬山に囃子が有った記述を発見。即ち、寛政12年（1800）「矢田祠記別録坤」に行烈の次第並びに山鉾由来銚付の記述があり、一北町 鍬山 中に而子供囃子、太鼓壺人、摺鉦□人とある。その他、蛭子山にも囃子方の記載がある。

早速、吉田会長に進言囃子方子供については、追分子供会にお願いし、囃子指導者には吉田会長のご親戚のついで難波山長老竹内直己氏にお願いし復活の運びとなった。囃子については囃子方代表の記述に譲るが、復活後立て続けに外部出演があり、また文化庁の文化体験祭囃子事業等、一気に他の囃子鉾に肩を並べるまでに成長したことは喜ばしく、何よりも子供たちとの連帯感が深まったことに感激している。

なお、同書の記述に23日に山の曳始、飾りとあり、宵々山が有ったことを伺わせる。その他、山鉾籤取りも行われていたようである。

囃子が復活して2年目（平成15年秋）ある夜、突然東京より電話があった。それは北町の大先輩、竹岡勝美氏（元防衛庁官房長）からだった。氏は同年生の前連合会長の野原純一氏から最近の亀岡祭の噂を聞かれての電話で、

「子供の頃、秋祭になると西町の同級生が羨ましくて仕方が無かった。鉾に上がって囃子をしたいと北町に生まれたのが悔しかった。頑張ってくれていて有難う。大切な故郷『北町』の誇りを育ててほしい。」との趣旨で、次はいよいよ子供を鉾に上げねばと大いに自信を得た。

**今年、亀岡祭 一層にぎやかに**

**「鍬山」の囃子 200年ぶり復活**

難波山から 講師、猛練習 **23** **25日お披露目**

十月に亀岡市の旧亀岡山城下町で開かれる 鍬山神社の宵祭、亀岡祭の山鉾のひとつ、鍬山の囃子が、二百年ぶりによみがえる。北町北町では難波山から講師を迎え、笛や太鼓を手に練習に励んでいる。

亀岡祭の山鉾は十一、た、竹内氏は「鍬山は、山が四萬、鉾が七基で、鍬山は山に分頭される。囃子は、のうち鉾にしかなく、鍬山でも祭りで、二体の人形を展示するだけだ。しかし、江戸時代の文獻には約二百年前に鍬山に囃子があったとする記述があり、地元の鍬山保存会は数年前から囃子の復活を語りあがって来た。初の宵祭に、鍬山では、難波山で囃子を教える竹内直己さん（七十七）と田町に指導を依頼し、

同じ山鉾として戦せきろ、たいなちの」と挨拶し、友代表の林健次さん（七十五）は話す。囃子は二十二年、二十五山、三曲の曲を伴った。お披露目する。北町北町は、北町の会館では、竹内さんの指導です。通う。北町北町は、北町の会館では、竹内さんの指導です。通う。北町北町は、北町の会館では、竹内さんの指導です。通う。

## 昇山鉾山を曳山鉾山鉾に！（古文書にみる復元の根拠）

平成8年会所改築と合わせて鉾蔵の新築を計画したとき、いずれ大きな車を着けた引山（曳山）に成っても入れることの出来る大きさにしようと役員会で盛り上がった。

当時他の山鉾の車輪の新調の噂も聞き、車輪が如何ほどするものか調べてみようとして平成9年11月京都竹田工務店より躯体・車輪の見積書を取り寄せた。約1千4百万円だった。そのまま時が流れた…。

亀岡祭山鉾行事も年々盛んになり、集結・城下町巡行行事も定まり、鉾山囃子も復活を果たした平成14年、躯体を無くし長年飾り山であった羽衣山が130年振りに復元・新調され、それに携わった大工が北町吉一工務店（吉田一博氏）だった。

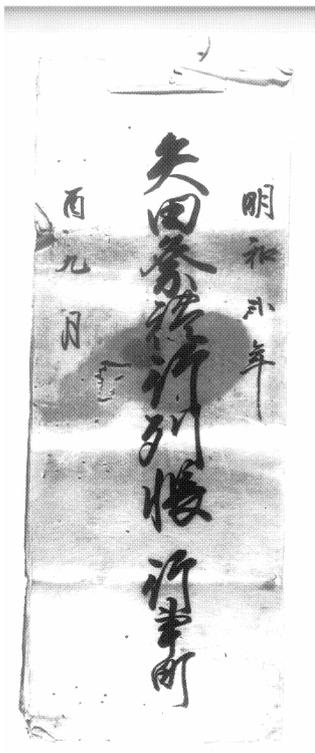
これに刺激を受け一気に鉾山鉾（曳山）復元の機運が高まった。それ以後の経過は詳しく本誌鉾山鉾復元記録の通りであるが、鉾山が200余年前は明神山（鉾山大明神と考えられる）と呼ぶ曳山であったと記述（矢田家文書・杉原家文書）されている。

亀岡の山鉾は始め昇山として登場したものが曳山に改装され今日をむかえている（難波山引山記、大三輪山神記の三輪山絵図参照）が、反対に曳山から昇山になった鉾山の経緯は如何であったのだろうか。また車輪部分を外して床までの高さ、床面積について11個の山鉾・山がほとんど同じ（※図参照）であることも曳山 ←→昇山への改修が窺われるところである。

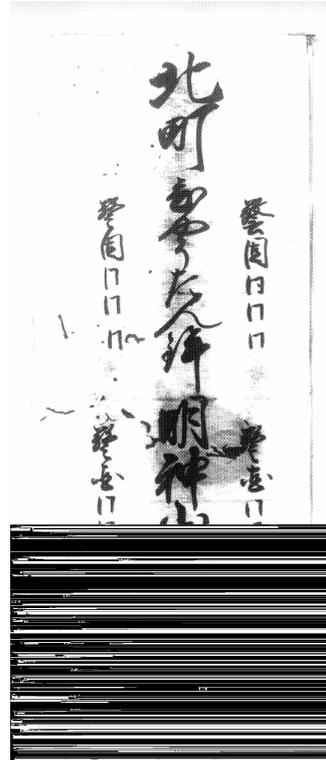
矢田家文書〔亀岡市文化資料館蔵〕

北町明神山（引山）の記述（明和二年、1765年）

※筆者註



※  
明和二年  
矢田家祭行列帳  
酉九月



※  
北町  
警護同同同  
ひょうたん鉾  
警護同同同  
明神山  
警護同同同  
但し引山  
引人十六人  
内子供  
志やぎり囃子

## 畷山鉾囃子復活の経過

文責 中澤 克己

安永4年(1775年)に北町明神山として曳山で城下町を巡行していた記録がありその後文化8年(1811年)舁き山に新調された。

「矢田祀記別録坤」(寛政12年、西暦1800年)の中に子供囃子太鼓壺人、摺鉦口人と記載され囃子鉾であったと推測される。

数年前よりお囃子を復活させることに関しての相談があり、平成13年10月25日夜の亀岡祭り直会席上にて鉾委員長の吉田好夫氏よりお囃子に関しての話しあり。

以下要旨

昭和60年に北町会所2階に保管されている部材と不足している部材を町内の吉一工務店により補充、組み立てることが可能となった。

従来は会所で10月祭り時にご神体、懸装品を飾っていたが北町通りの京信跡に飾ることができた。その後車輪をつけ巡行にも参加しているが、元々は囃子鉾のためお囃子を復活させてはどうか。丁度今ならば【難波山】の竹内直己氏に指導が得られる。

年度末の総常会に再度提案していただく事となる。

平成14年3月25日午後8時よりの総常会で議件3 その他の項でお囃子復活についての提案あり次年度の役員会で検討することとなる。

平成14年4月11日午後8時より第1回自治会役員会にて<鉾委員に一任>と決定。

舁山から囃子鉾に改修するとすればかかる費用の見積書を参考までに入手予定。

平成14年3月22日 楽器購入に対し一応事業計画書を提出。

京都府に対し吉田好夫氏より補助金申請¥385,350

2002年(平成14年)

4月11日 北町会所 鉾委員会

- ① 囃子復活についての提案説明 鉾委員長 吉田好夫氏
- ② 囃子復活について賛否を問う
- ③ 今後の進め方

4月26日 懇親会開催の案内状配布

5月3日 午後7時よりやまざき商店倉庫にて懇親会 焼肉パーティー

酒代¥14,734- 焼肉材料¥27,993-

各組の鉾委員さんにお囃子参加該当者のリストアップを依頼  
39名の参加申し込みをうける。

龍笛¥7,350×20 摺鉦¥3,360×5 摺棒¥4,200×10

締め太鼓¥68,250×2 佐竹楽器店にて購入

第1回 平成14年6月8日 午後7時30分 北町会所

お囃子説明会

午後8時より難波山の竹内直己様よりお囃子全般の説明を受ける。

取りあえず復活に向け大人の笛の練習からはじめその後、鉦、太鼓は子どもにお願いすることとなる。

竹内様より鍬山鉦のお囃子オリジナル曲の口唱譜をいただく

録音テープに竹内様の口唱歌と笛を録る

原本は3組中澤克己が保管する。

笛方【獅子】【神楽】【地囃子】【一二三】【北町囃子】【戻り鉦】6曲

太鼓 鉦方【つなぎ】【獅子】【神楽】【地囃子】【一二三】【北町囃子】【戻り鉦】

7曲

龍笛 10名渡し 林 佐々木 山本 井上 齊藤 八木辰 田口 服部 澤田 中澤

本日の参加者 谷内信隆 山本進/夫人 齊藤誉明 山本善衛 田口良市/夫人

谷内隆夫 中澤克己 服部康生 齊藤茂 八木市次 澤田透 林健次

森富美夫 八木辰夫 吉田均 吉田好夫 井上昌啓 佐々木弘明

第2回 6月13日 午後7時30分

本日の参加者 谷内信隆 山本進/夫人 山本善衛 田口良市/夫人 坂部蓉子

中澤克己 服部康生 齊藤茂 八木市次 澤田透 嶋村浩一 林健次

八木辰夫 吉田均 吉田好夫 井上昌啓 竹岡信秀 吉田一博

龍笛 5名渡し 嶋村 竹岡 吉田均 八木市 吉田一

第3回 6月21日 午後7時30分

本日の参加者 谷内信隆 山本進 山本善衛 田口良市 中澤克己 服部康生

齊藤茂 林健次 八木辰夫 吉田均 吉田好夫 井上昌啓 竹岡信秀

吉田一博

第4回 6月29日 午後7時30分

本日の参加者 谷内信隆 山本進 山崎博実 山本善衛 田口良市 服部康生

齊藤茂 吉田一博

龍笛 1名渡し 山崎

第5回 7月6日 午後7時30分

本日の参加者 山崎博実 山本善衛 田口良市 中澤克己 服部康生 八木市次

林健次 八木辰夫 吉田好夫 井上昌啓 吉田一博 佐々木弘明

第6回 7月13日午後7時30分

本日の参加者 山本進 山本善衛 田口良市 中澤克己 服部康生 八木市次  
澤田透 林健次 吉田均 吉田好夫 吉田一博 藤本新一

龍笛 1名渡し 藤本

音が出始める 獅子の練習

第7回 7月20日 午後7時30分

本日の参加者 山崎博実 田口良市/夫人 中澤克己 服部康生 八木市次 澤田透  
林健次 森富美夫 八木辰夫 吉田好夫 井上昌啓 竹岡信秀  
吉田一博 藤本新一 佐々木弘明

午後8時 北町会所 25日の委員会上程に対して 鉾保存会、囃子方保存会について  
囃子練習に対して参加不参加その他意見のアンケート用紙配布

7月25日 午後8時 鉾委員会

1. 囃子復活に向けての経過報告
2. 鉾山鉾囃子保存会の結成について  
位置づけとして鉾保存会と同列とする。  
林 健次氏を代表とする。  
龍笛¥7,350-のうち¥3,000-を個人負担とする。

龍笛 1名渡し 田村

第8回 7月28日 午後7時30分 参加者12名

本日の参加者 山崎博実 山本善衛 田口良市/夫人 中澤克己 服部康生 八木市次  
林健次 八木辰夫 吉田好夫 竹岡信秀 吉田一博 藤本新一

第9回 8月4日 午後7時30分

北町子供会、追分自治会との合同会議

小学校1年～6年29名在籍

追分町自治会長、子供会関係者3名 計4名出席

【難波山さん】の囃子を見学したいとの希望。

本日の参加者 山崎博実 山本善衛 田口良市 中澤克己 服部康生 齊藤茂 八木  
市次 澤田透 林健次 吉田好夫 竹岡信秀 吉田一博 藤本新一

龍笛 1名渡し 中田

第10回 8月11日 午後7時30分

本日の参加者 谷内信隆 山崎博実 田口良市/夫人 中澤克己 服部康生 齊藤茂  
八木市次 林健次 吉田好夫 藤本新一

午後1時より【難波山さん】による北町のリジナル5曲を実演して頂く 北町会所

難波山 子供5名 大人7名

北町 子供3名 大人 多数 追分町 子供13名 大人5名

講師お礼としてお菓子詰め合わせ 大人用¥2,000 6名

子供用¥1,000 7名

北町 追分町子供会見学者にお菓子詰め合わせ¥600

第11回 8月17日 午後1時 追分町子供会と初練習

摺鉦は両サイド脚立で吉田好夫氏より調達の真竹を渡し吊す

北町子供3名, 追分子供5名でスタート

鉦方 低学年 太鼓方 高学年 笛方 大人とする.

本日の参加者 伊藤恭介 富松祐太 長谷川侑希 服部夏希

山本進/夫人 田口良市/夫人 坂部蓉子 中澤克己 服部康生 八木

市次 林健次 八木辰夫 吉田好夫/夫人 吉田一博

子供には毎練習後¥300-前後のお菓子を準備

8月23日 地藏盆準備中亀岡高校中島先生(函谷銚) 会所へ

日和神楽の櫓の件で説明受ける. 北町も櫓を作る方向で進める.

吉一工務店に櫓発注

第12回 8月25日 午後7時30分

鉦 太鼓方 伊藤恭介 富松祐太 大西麻絢 大西彩絢 長谷川侑希

服部夏希

笛方 山崎博実 田口良市 中澤克己 服部康生 八木市次 林健次

八木辰夫 吉田好夫 井上昌啓 竹岡信秀 吉田一博 藤本新一

追分子供会に出席表わたす.

8月29日 吉田好夫氏楽器補助金 再申請¥172,000-

第13回 8月31日 午後7時30分

鉦 太鼓方 富松祐太 大西麻絢 大西彩絢

笛方 山崎博実 山本善衛 田口良市 中澤克己 服部康生 八木市次

林健次 八木辰夫 吉田均 吉田好夫

吉一工務店より櫓 納入 太鼓のバチ6本追加合計¥178,500-

吉一工務店のご好意により太鼓 鉦収納ケース頂く

第14回 9月7日 午後7時30分

鉦 太鼓方 伊藤恭介 富松祐太 大西麻絢 大西彩絢 長谷川侑希  
服部夏希 中島悠樹

笛方 山崎博実 山本善衛 田口良市 中澤克己 服部康生 八木市次  
林健次 吉田均 吉田一博 佐々木弘明

第15回 9月14日 午後7時30分

鉦 太鼓方 伊藤恭介 長谷川侑希 中島悠樹

笛方 山崎博実 田口良市 中澤克己 服部康生 八木市次 林健次  
吉田均 吉田好夫 吉田一博 佐々木弘明  
京都新聞, 亀岡市民新聞より練習風景の取材

9月18日 京都新聞に【欽山の囃子 200年ぶり復活】と題し掲載

9月21日 亀岡市民新聞に【200年ぶり囃子復活】と題し掲載

第16回 9月22日 午後7時30分

鉦 太鼓方 伊藤恭介 富松祐太 大西麻絢 大西彩絢 長谷川侑希  
服部夏希 中島悠樹

笛方 山崎博実 田口良市 中澤克己 服部康生 八木市次 林健次  
吉田好夫 吉田一博 藤本新一 佐々木弘明

第17回 9月28日 午後7時30分

鉦 太鼓方 富松祐太 大西麻絢 大西彩絢 長谷川侑希 服部夏希

笛方 山崎博実 山本善衛 田口良市 中澤克己 服部康生 八木市次  
林健次 吉田均 吉田好夫 吉田一博 佐々木弘明

第18回 10月1日 午後7時30分

鉦 太鼓方 伊藤恭介 富松祐太 大西麻絢 大西彩絢 長谷川侑希  
中島悠樹

笛方 山崎博実 中澤克己 服部康生 八木市次 林健次 吉田均  
吉田好夫 吉田一博 藤本新一

23, 24, 25日の服装は大人子供も着物とする。

手持ちのない人は八木市次氏へ依頼

子供用は着物, 草履等一式はヤギ呉服店より寄贈

龍笛の集金 練習出席者¥3,000, 不参加者¥7,350

第19回 10月3日 午後7時30分

鉦 太鼓方 伊藤恭介 富松祐太 大西麻絢 大西彩絢 長谷川侑希  
服部夏希 中島悠樹

笛方 山本善衛 田口良市 中澤克己 服部康生 八木市次 林健次  
八木辰夫 吉田均 吉田好夫 佐々木弘明

第20回 10月5日 午後7時30分

鉦 太鼓方 伊藤恭介 富松祐太 大西麻絢 大西彩絢 長谷川侑希  
服部夏希 中島悠樹

笛方 山崎博実 山本善衛 中澤克己 服部康生 林健次 八木辰夫  
吉田一博 藤本新一

本日より譜面なしで練習

龍笛代金 ¥3,000 林,佐々木,山本,田口,吉田一,藤本,  
服部,中澤,吉田均,八木市,山崎 計11名  
¥7,350 井上,斉藤,八木辰,嶋村,竹岡,田村  
中田,澤田 計8名

次回より当番制で準備係り(鉦吊 太鼓締め)を決める

第21回 10月8日 午後7時30分

鉦 太鼓方 伊藤恭介 富松祐太 大西麻絢 大西彩絢 長谷川侑希  
中島悠樹

笛方 山崎博実 田口良市 中澤克己 服部康生 八木市次 林健次  
吉田均 藤本新一

第22回 10月10日 午後7時30分

鉦 太鼓方 大西麻絢 大西彩絢 長谷川侑希 服部夏希 中島悠樹

笛方 山本善衛 田口良市 中澤克己 服部康生 八木市次 林健次  
八木辰夫 吉田均 吉田好夫 藤本新一 佐々木弘明

10月11日 亀岡小学校先生4名会所へ

2年生約100名に鉦の説明と鉦を体験させてほしいとの申し入れ有り  
24日の午前中に京信跡で行う予定.

第23回 10月12日 午後7時30分

鉦 太鼓方 伊藤恭介 富松祐太 大西麻絢 大西彩絢 長谷川侑希

笛方 山崎博実 山本善衛 田口良市 服部康生 八木市次 林健次  
吉田好夫 吉田一博

第24回 10月13日 午後7時30分

鉦 太鼓方 伊藤恭介 富松祐太 大西麻絢 大西彩絢 長谷川侑希  
服部夏希

笛方 山崎博実 田口良市 服部康生 八木市次 林健次 八木辰夫  
吉田均 吉田好夫 藤本新一

第25回 10月14日 午後7時30分

鉦 太鼓方 伊藤恭介 富松祐太 大西麻絢 大西彩絢 長谷川侑希  
服部夏希 中島悠樹

笛方 山崎博実 山本善衛 田口良市 服部康生 八木市次 林健次  
吉田均  
吉田好夫 吉田一博 佐々木弘明

第26回 10月15日 午後7時30分

鉦 太鼓方 伊藤恭介 富松祐太 大西麻絢 大西彩絢 長谷川侑希  
服部夏希 中島悠樹 山内大蔵 中澤克哉

笛方 山本善衛 服部康生 八木市次 林健次 八木辰夫  
吉田好夫 藤本新一

第27回 10月16日 午後7時30分

鉦 太鼓方 伊藤恭介 富松祐太 大西麻絢 大西彩絢 長谷川侑希  
服部夏希 中島悠樹 山内大蔵 山内瑞毅 竹岡潤

笛方 山本善衛 中澤克己 服部康生 林健次 藤本新一

23日宵々山に形原神社にて奉納囃子をするこのチラシを町内に配布

第28回 10月17日 午後7時30分

鉦 太鼓方 伊藤恭介 富松祐太 大西麻絢 大西彩絢 長谷川侑希  
服部夏希 中島悠樹 山内大蔵 中澤克哉

笛方 山崎博実 山本善衛 田口良市 中澤克己 服部康生 八木市次  
林健次 吉田好夫 藤本新一 佐々木弘明

第29回 10月18日 午後7時30分

鉦 太鼓方 伊藤恭介 富松祐太 大西麻絢 大西彩絢 長谷川侑希  
服部夏希 中島悠樹 山内大蔵 中澤克哉 山内瑞毅 竹岡潤

笛方 山崎博実 山本善衛 田口良市 中澤克己 服部康生 八木市次  
林健次 吉田好夫 藤本新一 佐々木弘明

こども激励のため亀岡小学校より学校長、教頭、PTA関係者

の訪問をうける。

23日～25日の囃子休憩時流すテープを録音。

文化庁【文化体験プログラム支援事業】に係る【亀岡祭り山鉦  
囃子の子ども文化体験プログラム】受け入れに関し11月17日  
24日、12月1日、8日の4回とする。

第30回 10月19日 午後7時30分

鉦 太鼓方 伊藤恭介 富松祐太 大西麻絢 大西彩絢 長谷川侑希  
服部夏希 中澤克哉 山内瑞毅 竹岡潤

笛方 山崎博実 山本善衛 田口良市 中澤克己 服部康生 八木市次  
林健次 八木辰夫 吉田均 吉田好夫

子供用足袋 草履¥36,015-購入

子供練習前午後6時30分より八木呉服店、田口さんの

奥さんから着物着付け指導。着物は各自持ち帰る

大人 練習後午後9時より着物着付け指導。

第31回 10月20日 午後6時 参加者30名（こども含む）

午後7時より仕上げでラーメンを食べる。

竹内様に謝礼¥100,000- 子どもに図書券¥1,000×11

第32回 10月22日 午後7時30分

鉦 太鼓方 伊藤恭介 富松祐太 大西麻絢 大西彩絢 長谷川侑希  
服部夏希 中澤克哉 山内大蔵 竹岡潤 中島悠樹

笛方 山崎博実 山本善衛 田口良市 中澤克己 服部康生 八木市次  
林健次 八木辰夫 吉田均 吉田好夫 吉田一博 藤本新一

佐々木弘明

獅子 神楽 地囃子 一二三 北町囃子 戻り鉦 の内 獅子 神楽

地囃子 3曲を習得 本日を以って練習は終了となる

宵々山 10月23日

午後5時 囃子関係者着物着用で会所へ集合、準備

午後5時30分 形原神社へ

午後6時～6時15分 形原神社にて奉納囃子が初披露

獅子、地囃子、神楽の3曲

午後7時 保証協会前で櫓を組み立て北町通りで初披露

午後10時30分 鉦蔵へ収納 櫓は明日の亀岡小学校の

見学と体験のため京信跡へ収納組み立て

宵宮 10月24日

午前10時30分 亀岡小学校2年生 1班50名

午前11時

2班50名

各班に中澤より鉦の前で説明その後、鉦の体験をする。  
午後7時30分と8時30分の2回囃子

本祭り 10月25日

午前9時45分頃より神輿を迎えお囃子開始 神輿を送り  
集結場所へ向け出発

巡行コース 北町→内丸町→紺屋町→柳町→新町(集結所)→柳町→紺屋町→西町→  
荒塚町→安町→追分馬場通り→クニッテル駅前通り(お囃子披露 中信  
前)→緑橋→北町

本部席前にて中澤氏パフォーマンス【北町鉦山 200年ぶりお囃子復活 通り  
ます】と名乗り巡行。

午後1時前北町に戻る。京信跡にて昼食

スタッフ 笛方 山崎博実 山本善衛 田口良市 服部康生 八木市次 林健次  
吉田 均 吉田一博 藤本新一 佐々木弘明 中澤克己  
応援 吉田好夫 八木辰夫

鉦方 太鼓方 北町 山内瑞毅 山内大蔵 竹岡潤 中澤克哉  
追分 伊藤恭介 富松祐太 中島悠樹  
服部夏季 大西麻絢 大西彩絢 長谷川侑希

11月11日付け京都府 楽器購入補助172,000-で受理

11月16日 文部科学省委託事業 生涯学習まちづくりモデル支援事業

「全国生涯学習まちづくりフェスティバル in かめおか」

子どもの心を育てる全国大会 至 ガリアかめおか  
オープニングイベント【亀岡祭り曳き山囃子】代表で出場  
お囃子 獅子 地囃子 神楽 3曲披露する

スタッフ 笛方 山崎博実 山本善衛 田口良市 服部康生 八木市次 林健次  
吉田 均 吉田一博 藤本新一 佐々木弘明 中澤克己  
応援 吉田好夫 八木辰夫

鉦方 太鼓方 北町 山内瑞毅 山内大蔵 竹岡潤 中澤克哉  
追分 伊藤恭介 富松祐太 中島悠樹 長谷川侑希  
服部夏季 大西麻絢 大西彩絢

11月17日 第1回 子ども文化体験プログラム

亀岡市夢を育む子ども文化体験プログラム実行委員会と亀岡市教育委員会が主催者となり〔亀岡祭り山鉦囃子の子ども文化体験プログラム〕と称し亀岡祭山鉦連合会と8鉦町の保存会が協力し亀岡市内の小中学校が窓口となり受講者を募り各鉦町の保存会員が無料で指導する 定員は20名で4回 1回の体験時間は午前10時から11時30分までの1時間30分

鉦の扱い方と基本的なうち方 15分説明 中澤

太鼓の扱い方と基本的なうち方 15分説明 中澤

獅子の練習 11時より笛方と一緒に仕上げる。

講師 林健次, 吉田一博, 藤本新一, 田口良市, 中澤克己

受講者 1年4名 2年3名 3年3名 4年1名

11月24日 第2回 子ども文化体験プログラム

午前10時～11時30分

17日の復習 30分

地囃子の練習 11時より笛方と一緒に仕上げる

講師 林健次, 山崎博実, 藤本新一, 服部康生, 中澤克己

受講者 1年4名 2年3名 3年2名 4年1名

12月1日 第3回 子ども文化体験プログラム

午前10時～11時30分

17日 24日の復習 40分

神楽の練習 11時より笛方と一緒に仕上げる

講師 山本善衛, 山崎博実, 吉田均, 服部康生, 中澤克己

受講者 1年4名 2年3名 3年1名 4年1名

12月8日 第4回 子ども文化体験プログラム

午前10時～11時30分

17日 24日 12月1日の復習 50分

獅子 地囃子 神楽の仕上げ

講師 山本善衛, 佐々木弘明, 吉田均, 林健次, 中澤克己

受講者 1年4名 2年3名 3年1名 4年1名

12月20日 子ども文化体験プログラム終了の報告書

山鉾連合会に提出

12月24日 山鉾連合会より購入

摺棒¥2,800×10 棒のみ¥1,300×1

2003年(平成15年)

3月31日 京都府より楽器購入補助金¥172,000-交付

5月26日 亀岡市より楽器購入補助金¥68,000-交付

6月4日 午後7時30分 楽々荘ビアガーデン

6日 午後7時 北町会所

本年度のお囃子練習についての説明会。

6/20 27 7/5 11 18 25 8/1 8 9/12 20 27

10/2 4 7 9 11 14 16 18 20 21 22

6 7 8月の練習時間 午後7時30分～8時30分 鉦方, 太鼓方, 笛方

午後7時30分～10時 笛方

9 10月の練習時間 午後8時～10時 鉦方, 太鼓方, 笛方

鉦, 太鼓方 富松祐太 中島悠樹 服部夏樹 大西麻絢 長谷川侑希 大西彩絢  
関口あ生 松永宏子 山内大蔵 山内瑞毅 竹岡潤  
笛方及び応援 吉田好夫 吉田忠司 山崎博実 山本善衛 田口良市  
服部康生 八木市次 林健次 八木辰夫 吉田均 井上昌啓  
藤本新一 佐々木弘明 中澤克己

第1回 6月20日参加者

鉦, 太鼓方 中島悠樹 服部夏樹 大西麻絢 長谷川侑希 大西彩絢 関口あ生  
松永宏子 山内大蔵  
笛方及び応援 吉田好夫 山本善衛 田口良市 服部康生 林健次 八木辰夫  
吉田均 井上昌啓 佐々木弘明 中澤克己

第2回 6月27日参加者

鉦, 太鼓方 富松祐太 服部夏樹 大西麻絢 長谷川侑希 大西彩絢 関口あ生  
松永宏子 山内大蔵  
笛方及び応援 吉田好夫 山崎博実 山本善衛 田口良市 服部康生 林健次  
吉田均 井上昌啓 佐々木弘明 中澤克己

第3回 7月5日参加者

鉦, 太鼓方 富松祐太 中島悠樹 服部夏樹 大西麻絢 長谷川侑希 大西彩絢  
関口あ生 山内大蔵 山内瑞毅  
笛方及び応援 吉田好夫 吉田忠司 山崎博実 田口良市 服部康生 林健次  
藤本新一 中澤克己

第4回 7月11日参加者

鉦, 太鼓方 富松祐太 中島悠樹 服部夏樹 大西麻絢 長谷川侑希  
大西彩絢 関口あ生 山内大蔵  
笛方及び応援 吉田好夫 吉田忠司 山崎博実 山本善衛 田口良市  
服部康生 林健次 吉田均 井上昌啓 藤本新一 中澤克己

第5回 7月18日参加者

鉦, 太鼓方 富松祐太 中島悠樹 服部夏樹 大西麻絢 長谷川侑希 大西  
彩絢 関口あ生 松永宏子 山内大蔵 山内瑞毅 竹岡潤  
笛方及び応援 吉田好夫 吉田忠司 山崎博実 田口良市 服部康生  
八木市次 林健次 井上昌啓 佐々木弘明 中澤克己

第6回 7月25日参加者

鉦,太鼓方 富松祐太 中島悠樹 服部夏樹 大西麻絢 長谷川侑希 大西  
彩絢 関口あ生 松永宏子 山内大蔵 山内瑞毅 竹岡潤  
笛方及び応援 吉田忠司 服部康生 八木市次 林健次 藤本新一 中澤克己

第7回 8月1日参加者

鉦,太鼓方 中島悠樹 大西麻絢 長谷川侑希 大西彩絢 松永宏子 山内  
瑞毅 竹岡潤  
笛方及び応援 吉田好夫 山崎博実 田口良市 服部康生 八木市次  
林健次 吉田均 中澤克己

8月8日 台風のため中止

第8回 9月5日参加者

鉦,太鼓方 富松祐太 中島悠樹 服部夏樹 長谷川侑希 松永宏子  
山内大蔵  
笛方及び応援 田口良市 服部康生 林健次 藤本新一 佐々木弘明  
中澤克己

第9回 9月12日参加者

鉦,太鼓方 富松祐太 中島悠樹 服部夏樹 大西麻絢 長谷川侑希  
大西彩絢 関口あ生 松永宏子 山内大蔵  
笛方及び応援 吉田好夫 吉田忠司 田口良市 服部康生 八木市次  
林健次 吉田均 井上昌啓 藤本新一 佐々木弘明 中澤克己

第10回 9月20日参加者

鉦,太鼓方 富松祐太 中島悠樹 服部夏樹 大西麻絢 長谷川侑希  
大西彩絢 関口あ生 松永宏子 山内大蔵 山内瑞毅 竹岡潤  
笛方及び応援 吉田忠司 山崎博実 田口良市 服部康生 林健次 吉田均  
藤本新一 中澤克己

第11回 9月27日参加者

鉦,太鼓方 富松祐太 中島悠樹 服部夏樹 大西麻絢 長谷川侑希 大西  
彩絢 関口あ生 松永宏子 山内大蔵 山内瑞毅 竹岡潤  
笛方及び応援 吉田好夫 山崎博実 田口良市 服部康生 林健次  
藤本新一 佐々木弘明 中澤克己

第12回 10月2日参加者

鉦,太鼓方 富松祐太 中島悠樹 服部夏樹 大西麻絢 長谷川侑希

大西彩絢 関口あ生 松永宏子 山内瑞毅 竹岡潤  
笛方及び応援 吉田好夫 山崎博実 田口良市 服部康生 八木市次  
林健次 吉田均 藤本新一 中澤克己

第13回 10月4日参加者

鉦,太鼓方 富松祐太 中島悠樹 服部夏樹 大西麻絢 長谷川侑希  
大西彩絢 関口あ生 松永宏子 山内大蔵 山内瑞毅 竹岡潤  
笛方及び応援 吉田好夫 山崎博実 山本善衛 田口良市 服部康生  
林健次 藤本新一 佐々木弘明 中澤克己

10月5日 第1回亀岡祭山鉦囃子文化体験プログラム

午前10時～11時30分

講師 林健次, 佐々木弘明, 藤本新一, 服部康生, 田口良市, 八木市次, 八木  
辰夫, 山崎博実, 中澤克己

受講者 2年:4名 3年:4名 4年:2名 5年:2名 計12名

第14回 10月7日参加者

鉦,太鼓方 服部夏樹 大西麻絢 長谷川侑希 大西彩絢 関口あ生  
松永宏子 山内大蔵 山内瑞毅 竹岡潤  
笛方及び応援 吉田好夫 田口良市 服部康生 林健次 吉田均 井上昌啓  
藤本新一 中澤克己

第15回 10月9日参加者

鉦,太鼓方 富松祐太 中島悠樹 服部夏樹 大西麻絢 長谷川侑希  
大西彩絢 関口あ生 松永宏子 山内大蔵 竹岡潤  
笛方及び応援 吉田忠司 山崎博実 田口良市 服部康生 林健次 吉田均

第16回 10月11日参加者

鉦,太鼓方 富松祐太 中島悠樹 大西麻絢 長谷川侑希 大西彩絢  
松永宏子 山内大蔵 山内瑞毅  
笛方及び応援 吉田好夫 山崎博実 山本善衛 田口良市 服部康生  
八木市次 林健次 藤本新一 佐々木弘明

10月12日 第2.3回亀岡祭山鉦囃子文化体験プログラム

午前9時～12時

講師 林健次, 藤本新一, 田口良市, 八木辰夫, 山崎博実, 中澤克己

受講者 2年:4名 3年:4名 4年:2名 5年:2名 計12名

第17回 10月14日参加者

鉦,太鼓方 富松祐太 中島悠樹 服部夏樹 大西麻絢 長谷川侑希  
大西彩絢 関口あ生 松永宏子 山内大蔵 山内瑞毅 竹岡潤  
笛方及び応援 吉田好夫 吉田忠司 山崎博実 田口良市 服部康生  
林健次 吉田均 佐々木弘明

第18回 10月16日参加者

鉦,太鼓方 富松祐太 中島悠樹 服部夏樹 大西麻絢 長谷川侑希  
大西彩絢 関口あ生 松永宏子 山内大蔵 山内瑞毅 竹岡潤  
笛方及び応援 吉田好夫 山本善衛 山崎博実 服部康生 八木市次  
林健次 八木辰夫 吉田均 中澤克己

18日 第4回亀岡祭山鉦囃子文化体験プログラム

午前10時～11時30分

講師 林健次, 藤本新一, 田口良市, 服部康生, 吉田均, 山本善衛, 中澤克己  
受講者 2年:4名 3年:4名 4年:2名 5年:2名計12名

第19回 10月18日参加者

鉦,太鼓方 富松祐太 中島悠樹 服部夏樹 大西麻絢 長谷川侑希  
大西彩絢 関口あ生 松永宏子 山内大蔵 山内瑞毅 竹岡潤  
笛方及び応援 吉田好夫 山崎博実 山本善衛 服部康生 八木市次  
林健次 八木辰夫 吉田均 中澤克己

第20回 10月20日参加者

鉦,太鼓方 富松祐太 中島悠樹 服部夏樹 大西麻絢 長谷川侑希  
大西彩絢 関口あ生 松永宏子 山内大蔵  
笛方及び応援 吉田好夫 吉田忠司 山崎博実 田口良市 山本善衛  
服部康生 八木市次 林健次 八木辰夫 藤本新一 佐々木弘明  
吉田均 中澤克己

第21回 10月21日参加者

鉦,太鼓方 富松祐太 服部夏樹 大西麻絢 長谷川侑希 大西彩絢  
関口あ生 松永宏子 山内大蔵 山内瑞毅 竹岡潤  
笛方及び応援 吉田好夫 吉田忠司 山崎博実 田口良市 山本善衛  
服部康生 八木市次 林健次 八木辰夫 藤本新一 佐々木弘明  
吉田均 中澤克己

第22回 10月22日参加者

鉦, 太鼓方 富松祐太 服部夏樹 大西麻絢 長谷川侑希 大西彩絢

関口あ生 松永宏子 山内大蔵

笛方及び応援 吉田好夫 山崎博実 田口良市 服部康生 八木市次

林健次 八木辰夫 藤本新一 吉田均 中澤克己

練習は本日を以って終了.

獅子 地囃子 神楽 一二三 鍬山囃子 おくり

本年より【おくり】が追加 【戻り囃子】は保留

【北町囃子】を【鍬山囃子】に改名する.

10月23日 宵々山 本年は花灯路を設置 午前中

第5回亀岡山鉦囃子文化体験プログラム発表会

5時より発表会 京都信用保証協会の前に櫓を設置する

つなぎ 獅子 地囃子 神楽 4曲披露 約30分間

午後7時よりお囃子

10月24日 宵山 午後7時よりお囃子

10月25日 本宮 9時45分ころより神輿を迎えお囃子

巡行コース 北町→内丸町→紺屋町→柳町→新町(集結所)→柳町→紺屋町→  
西町→荒塚町→安町→追分馬場通り→クニッテル駅前通り(お囃  
子披露中信前)→緑橋→北町

1時過ぎ北町に戻り京信跡で昼食 食後収納

本部席前で林氏<sup>ハ</sup>パフォーマンス【北町鍬山通ります】の掛け声と共に  
笠を高く舞い上がらせ巡行再開

スタッフ 笛方 山崎博実 山本善衛 田口良市 服部康生 八木市次  
林 健次 吉田 均 藤本新一 佐々木弘明 中澤克己  
応援 吉田好夫 八木辰夫 吉田忠司

鉦方 太鼓方 北町 山内瑞毅 山内大蔵 竹岡潤 松永宏子

追分 富松祐太 中島悠樹 服部夏季

大西麻絢 大西彩絢 長谷川侑希 関口あ生

2004年(平成16年)

7月10日 午後7時 楽々荘ビアガーデンにて反省会

本年度の取り組みについて

7月22日 北町, 追分町自治会に対し本年度のお囃子練習日の依頼

8/5 12 20 28 9/4 11 20 25

10/2 6 9 13 16 18 19 20 21 22

但し本年は旅籠町通りを囃子ながらの巡行のため夜間戸外で練習する必要あり.

第1回 8月5日参加者

鉦, 太鼓方 山内大蔵 松永宏子 井上諒也 富松祐太 中島悠樹 関口あ生  
大西麻絢 服部夏樹 長谷川侑希 大西彩絢 大西華鈴 服部義樹  
笛方及び応援 田口良市 藤本新一 林健次 服部康生 吉田均  
佐々木弘明 井上昌啓 吉田忠司 八木市次 吉田好夫

第2回 8月12日参加者

鉦, 太鼓方 山内瑞毅 山内大蔵 松永宏子 井上諒也 富松祐太 中島悠樹  
大西麻絢 服部夏樹 長谷川侑希 大西彩絢 大西華鈴 服部義樹  
北村悠 北村典靖  
笛方及び応援 田口良市 藤本新一 林健次 中澤克己 服部康生 吉田均  
井上昌啓 ライダー・セント 山崎博実 山本善衛 八木辰夫  
山内俊房

第3回 8月20日参加者

鉦, 太鼓方 山内瑞毅 山内大蔵 松永宏子 井上諒也 富松祐太 中島悠樹  
関口あ生 大西麻絢 服部夏樹 長谷川侑希 大西彩絢  
大西華鈴 服部義樹 北村悠 北村典靖  
笛方及び応援 田口良市 藤本新一 林健次 中澤克己 服部康生 吉田均  
佐々木弘明 井上昌啓 吉田忠司 八木市次 吉田好夫  
ライダー・セント 山崎博実 山本善衛 八木辰夫 山内俊房  
本日よりオーストラリア出身のライダー・セント君 29歳笛方として加入

第4回 8月28日参加者

鉦, 太鼓方 山内瑞毅 山内大蔵 松永宏子 井上諒也 中島悠樹 関口あ生  
大西麻絢 服部夏樹 長谷川侑希 大西彩絢 大西華鈴  
服部義樹 北村悠 北村典靖  
笛方及び応援 田口良市 藤本新一 林健次 中澤克己 服部康生 吉田均  
吉田忠司 八木市次 吉田好夫 ライダー・セント 山崎博実 山本善衛

9月1日 摺鉦¥33,600-1個購入

第5回 9月4日参加者

鉦, 太鼓方 山内大蔵 松永宏子 富松祐太 中島悠樹 関口あ生 大西麻絢  
服部夏樹 長谷川侑希 大西彩絢 大西華鈴 服部義樹 北村悠  
北村典靖  
笛方及び応援 藤本新一 林健次 中澤克己 服部康生 八木市次  
吉田好夫 ライター・セント 山崎博実 八木辰夫

第6回 9月11日参加者

鉦, 太鼓方 山内大蔵 松永宏子 井上諒也 富松祐太 中島悠樹 関口あ生  
大西麻絢 服部夏樹 長谷川侑希 大西彩絢 大西華鈴  
服部義樹 北村悠 北村典靖  
笛方及び応援 田口良市 藤本新一 林健次 中澤克己 服部康生 吉田均  
井上昌啓 八木市次 吉田忠司 吉田好夫 八木辰夫

第7回 9月20日参加者

鉦, 太鼓方 山内大蔵 松永宏子 井上諒也 富松祐太 中島悠樹 関口あ生  
大西麻絢 服部夏樹 長谷川侑希 大西彩絢 大西華鈴  
服部義樹 北村悠 北村典靖  
笛方及び応援 藤本新一 林健次 中澤克己 服部康生 佐々木弘明  
井上昌啓 八木市次 吉田忠司 吉田好夫 ライター・セント  
山崎博実 山本善衛 山内俊房 八木辰夫

第8回 9月25日参加者

鉦, 太鼓方 山内瑞毅 山内大蔵 松永宏子 井上諒也 中島悠樹 関口あ生  
大西麻絢 服部夏樹 長谷川侑希 大西彩絢 大西華鈴  
服部義樹 北村悠 北村典靖  
笛方及び応援 田口良市 藤本新一 林健次 中澤克己 服部康生 吉田均  
佐々木弘明 井上昌啓 吉田忠司 八木市次 吉田好夫  
山崎博実 山本善衛

第9回 10月2日参加者

鉦, 太鼓方 山内瑞毅 山内大蔵 松永宏子 井上諒也 中島悠樹 関口あ生  
大西麻絢 服部夏樹 長谷川侑希 大西彩絢 大西華鈴  
服部義樹 北村悠 北村典靖  
笛方及び応援 田口良市 藤本新一 林健次 中澤克己 服部康生 吉田均  
吉田忠司 八木市次 山崎博実 山内俊房

10月3日 京都三条ラジオカフェ【日曜午後の遊び時間】

協力 文化庁 亀岡市 他

＝まちはミュージアム～文化と祭りとアート＝の番組内

京都新風館でライブ午前11時～午後4時過ぎ迄

1班 トラックで櫓 乗用車で鉦 太鼓 9時に先発

2班 1時会所に集合 食事後着替え市役所のバスで出発

午後3時30分～4時までお囃子及びインビュ

午後6時前北町へ戻る

連合会より謝礼¥50,000- 亀岡市より食事代¥20,000-受領

参加者 吉田好夫 八木市次 八木辰夫 吉田忠司 吉田均 藤本新一 井上昌啓  
林健次 中澤克己 吉田一博 服部康生 田口良市 山本善衛 佐々木弘明  
山崎博実 ライダー・セント 亀岡祭連合会副委員長岩佐宏之氏  
山内大蔵 松永宏子 富松祐太 中島悠樹 大西麻絢 大西彩絢  
服部夏樹 長谷川侑希 井上諒也 大西華鈴 服部義樹

10月4日 櫓の一部を改修 ¥43,680-

本年は囃子ながら巡行のため キャスターの交換

第11回 10月6日参加者

鉦,太鼓方 山内瑞毅 山内大蔵 松永宏子 井上諒也 富松祐太 中島悠樹  
関口あ生 大西麻絢 服部夏樹 長谷川侑希 大西彩絢  
大西華鈴 服部義樹 北村悠 北村典靖

笛方及び応援 田口良市 林健次 中澤克己 服部康生 吉田均 井上昌啓  
八木市次 吉田好夫 山崎博実 山本善衛 八木辰夫

嶋村駐車場にて歩行練習

第12回 10月9日参加者

鉦,太鼓方 山内大蔵 松永宏子 富松祐太 中島悠樹 関口あ生 大西麻絢  
服部夏樹 長谷川侑希 大西彩絢 大西華鈴 服部義樹  
北村悠 北村典靖

笛方及び応援 田口良市 藤本新一 林健次 中澤克己 服部康生  
佐々木弘明 吉田忠司 山崎博実 山本善衛 八木辰夫

㈱やまざき商店横の通りで歩行練習

第13回 10月13日参加者

鉦,太鼓方 山内瑞毅 山内大蔵 松永宏子 井上諒也 富松祐太 中島悠樹  
関口あ生 大西麻絢 服部夏樹 長谷川侑希 大西彩絢  
大西華鈴 服部義樹 北村悠 北村典靖

笛方及び応援 田口良市 藤本新一 林健次 中澤克己 服部康生 吉田均

井上昌啓 八木市次 吉田好夫 山崎博実 八木辰夫

第14回 10月16日参加者

鉦,太鼓方 山内大蔵 松永宏子 井上諒也 富松祐太 中島悠樹 関口あ生  
大西麻絢 服部夏樹 長谷川侑希 大西彩絢 大西華鈴  
服部義樹 北村悠 北村典靖  
笛方及び応援 田口良市 藤本新一 林健次 服部康生 吉田均 井上昌啓  
佐々木弘明 吉田忠司 八木市次 吉田好夫 ライター・セント 山崎博実

第15回 10月18日参加者

鉦,太鼓方 山内大蔵 松永宏子 井上諒也 富松祐太 中島悠樹 関口あ生  
大西麻絢 服部夏樹 長谷川侑希 大西彩絢 大西華鈴  
服部義樹 北村悠 北村典靖  
笛方及び応援 田口良市 藤本新一 林健次 中澤克己 服部康生 吉田均  
佐々木弘明 井上昌啓 吉田忠司 八木市次 吉田好夫  
ライター・セント 山崎博実 山本善衛

第16回 10月19日参加者

鉦,太鼓方 山内大蔵 松永宏子 井上諒也 富松祐太 中島悠樹 関口あ生  
大西麻絢 服部夏樹 長谷川侑希 大西彩絢 大西華鈴  
服部義樹 北村悠 北村典靖  
笛方及び応援 田口良市 藤本新一 林健次 中澤克己 服部康生 吉田均  
佐々木弘明 井上昌啓 八木市次 吉田好夫 ライター・セント  
山崎博実 山本善衛 山内俊房

第17回 10月21日参加者

鉦,太鼓方 山内大蔵 松永宏子 井上諒也 富松祐太 中島悠樹 関口あ生  
大西麻絢 服部夏樹 長谷川侑希 大西彩絢 大西華鈴  
服部義樹 北村悠 北村典靖  
笛方及び応援 田口良市 藤本新一 林健次 中澤克己 服部康生 吉田均  
佐々木弘明 八木市次 吉田好夫 山崎博実 山本善衛 山内俊房

第18回 10月22日参加者

鉦,太鼓方 山内瑞毅 山内大蔵 松永宏子 井上諒也 富松祐太 中島悠樹  
関口あ生 大西麻絢 服部夏樹 長谷川侑希 大西彩絢  
大西華鈴 服部義樹 北村悠 北村典靖  
笛方及び応援 田口良市 藤本新一 林健次 中澤克己 服部康生 吉田均

佐々木弘明 井上昌啓 八木市次 ライター・セント 吉田好夫 山内俊房  
練習仕上げ

獅子 地囃子 一二三 鉾山囃子 神楽 おくり 戻り囃子は保留  
謝礼として竹内氏に¥50,000-

子供, 保護者¥1,050×23人 回り寿司代として渡す  
その他に子供のみ図書券¥1,000×15プレゼントする

10月23日 宵々山 午後7時~9時 鉾の前にてお囃子

10月24日 宵山 午後7時~9時 鉾の前にてお囃子

10月25日 本宮 午前9時45分頃より神輿を迎えお囃子

午前10時過ぎ集結所に向け出発、本部席前でライター・セントのユーモアに溢れる名乗りパフォーマンスで観客大爆笑。

巡行コース 北町→内丸町→紺屋町→呉服町→横町→新町(集結所)→柳町→  
紺屋町→西町→荒塚町→安町→追分馬場通り→クニッテル→  
駅前通り(お囃子披露 中信前約20分)→緑橋→北町  
本年は横町グランド前より新町間囃子ながら巡行する

スタッフ 笛方 山崎博実 山本善衛 田口良市 服部康生 林健次  
吉田均 藤本新一 佐々木弘明 中澤克己

応援 吉田好夫 八木辰夫 吉田忠司

鉦及び太鼓方 北町 山内瑞毅 山内大蔵 松永宏子 井上諒也  
追分 富松祐太 中島悠樹 大西麻絢 大西彩絢 服部夏季  
長谷川侑希 関口あ生 北村悠 北村典靖 服部義樹  
大西華鈴

12月16日 平成14年子ども文化体験プログラムの助成金交付

講師料¥45,000- 会場使用料¥25,000-受領

平成15年文化体験プログラムの助成金交付

講師料¥9,000×5日×7名 楽器使用料¥10,000×5日

会場使用料¥5,000×5 受領

2005年1月15日 青年会議所新年会にてお囃子披露 ガレリアにて

謝礼として¥10,000- 丹波ワイン2本 清酒2本受領

2005年(平成17年)

9月15日 元亀岡高校中島孝行先生(現西宇治高校)より音頭取りの動作を教えていただく その後本年度の練習に関してミーティング

本年度のお囃子練習日は

9/18, 24, 10/1, 4, 6, 8, 11, 13, 15, 17, 18, 19, 20, 21, 22, とする

鉾山鉾復元完成につき会所の畳の部屋に欄縁のサイズを模しその枠内での練習とする。

9月18日出席者

鉦, 太鼓方

富松祐太 山内瑞毅 中島悠樹 大西麻絢 北村悠 服部夏希 大西彩絢  
長谷川侑希 松永宏子 山内大蔵 大西華鈴 服部義樹 井上諒也 齊藤喬

笛方及び応援

竹内直己 吉田好夫 吉田忠司 吉田均 林健次 佐々木弘明 山崎博実  
田口良市 八木市次 八木辰夫 藤本新一 齊藤茂 井上昌啓 山本善衛  
服部康生 山内俊房 中澤克己 ライダー・セイント

9月24日出席者

鉦, 太鼓方

中島悠樹 大西麻絢 北村悠 服部夏希 大西彩絢 長谷川侑希 松永宏子  
山内大蔵 大西華鈴 服部義樹 井上諒也 齊藤喬

笛方及び応援

竹内直己 吉田好夫 吉田均 林健次 佐々木弘明 山崎博実 田口良市  
八木市次 藤本新一 齊藤茂 井上昌啓 中澤克己

10月1日出席者

鉦, 太鼓方

大西麻絢 北村悠 服部夏希 大西彩絢 長谷川侑希 松永宏子 山内大蔵  
大西華鈴 服部義樹 井上諒也 齊藤喬

笛方及び応援

竹内直己 吉田好夫 吉田均 林健次 佐々木弘明 山崎博実 田口良市  
八木市次 藤本新一 齊藤茂 井上昌啓 山本善衛 山内俊房 中澤克己

10月4日出席者

鉦, 太鼓方

富松祐太 中島悠樹 大西麻絢 北村悠 服部夏希 大西彩絢 長谷川侑希  
松永宏子 山内大蔵 大西華鈴 服部義樹 井上諒也 齊藤喬

笛方及び応援

竹内直己 吉田好夫 吉田均 林健次 佐々木弘明 山崎博実 田口良市  
八木市次 八木辰夫 藤本新一 齊藤茂 井上昌啓

10月6日出席者

鉦, 太鼓方

富松祐太 中島悠樹 大西麻絢 北村悠 服部夏希 大西彩絢 長谷川侑希  
松永宏子 山内大蔵 大西華鈴 服部義樹 井上諒也 齊藤喬

笛方及び応援

竹内直己 吉田好夫 吉田均 林健次 山崎博実 田口良市 八木市次  
八木辰夫 藤本新一 齊藤茂 井上昌啓 山本善衛 服部康生

10月8日出席者

鉦, 太鼓方

富松祐太 中島悠樹 大西麻絢 北村悠 服部夏希 大西彩絢 長谷川侑希  
松永宏子 大西華鈴 服部義樹 井上諒也 齊藤喬

笛方及び応援

竹内直己 吉田均 林健次 佐々木弘明 山崎博実 田口良市 八木市次  
中澤克己 ライター・セイント

10月8日出席者

鉦, 太鼓方

富松祐太 中島悠樹 大西麻絢 北村悠 服部夏希 大西彩絢 長谷川侑希  
松永宏子 大西華鈴 服部義樹 井上諒也 齊藤喬

笛方及び応援

竹内直己 吉田均 林健次 佐々木弘明 山崎博実 田口良市  
八木市次 ライター・セイント

10月11日出席者

鉦, 太鼓方

富松祐太 中島悠樹 大西麻絢 北村悠 服部夏希 大西彩絢 長谷川侑希  
大西華鈴 服部義樹 井上諒也 齊藤喬

笛方及び応援

竹内直己 吉田好夫 吉田均 林健次 佐々木弘明 山崎博実 田口良市  
藤本新一 齊藤茂 井上昌啓 中澤克己

10月13日出席者

鉦, 太鼓方

富松祐太 中島悠樹 大西麻絢 北村悠 服部夏希 大西彩絢 長谷川侑希  
松永宏子 大西華鈴 服部義樹 井上諒也 齊藤喬

笛方及び応援

竹内直己 吉田均 林健次 山崎博実 田口良市 八木市次 八木辰夫  
齊藤茂 井上昌啓 中澤克己

10月15日出席者

鉦, 太鼓方

富松祐太 中島悠樹 大西麻絢 北村悠 服部夏希 大西彩絢 長谷川侑希  
松永宏子 大西華鈴 服部義樹 井上諒也 齊藤喬

笛方及び応援

竹内直己 吉田好夫 林健次 田口良市 八木市次 藤本新一 齊藤茂  
井上昌啓 中澤克己 ライター・セイント

10月17日出席者

鉦, 太鼓方

富松祐太 中島悠樹 大西麻絢 北村悠 服部夏希 大西彩絢 長谷川侑希  
松永宏子 大西華鈴 服部義樹 井上諒也 齊藤喬

笛方及び応援

竹内直己 吉田好夫 吉田均 林健次 山崎博実 田口良市 藤本新一  
井上昌啓 山本善衛 中澤克己

10月18日出席者

鉦, 太鼓方

富松祐太 中島悠樹 大西麻絢 北村悠 服部夏希 大西彩絢 長谷川侑希  
松永宏子 大西華鈴 服部義樹 井上諒也 齊藤喬

笛方及び応援

竹内直己 吉田均 林健次 佐々木弘明 山崎博実 田口良市 八木辰夫  
井上昌啓 ライター・セイント

10月19日出席者

鉦, 太鼓方

富松祐太 中島悠樹 大西麻絢 北村悠 服部夏希 大西彩絢 長谷川侑希  
大西華鈴 服部義樹 井上諒也 齊藤喬

笛方及び応援

竹内直己 吉田均 林健次 山崎博実 田口良市 八木辰夫 藤本新一  
中澤克己 ライター・セイント

10月20日出席者

鉦, 太鼓方

富松祐太 中島悠樹 大西麻絢 北村悠 服部夏希 大西彩絢 長谷川侑希  
松永宏子 大西華鈴 服部義樹 井上諒也 齊藤喬

笛方及び応援

竹内直己 吉田好夫 吉田忠司 吉田均 林健次 佐々木弘明 山崎博実  
田口良市 八木市次 八木辰夫 藤本新一 齊藤茂 井上昌啓 山本善衛  
服部康生 山内俊房 中澤克己 ライター・セイント

10月21日出席者

鉦, 太鼓方

富松祐太 中島悠樹 大西麻絢 北村悠 服部夏希 大西彩絢 長谷川侑希  
松永宏子 大西華鈴 服部義樹 井上諒也 齊藤喬

笛方及び応援

竹内直己 吉田好夫 吉田均 林健次 佐々木弘明 田口良市 藤本新一  
齊藤茂 山本善衛 中澤克己

10月22日出席者

鉦, 太鼓方

富松祐太 中島悠樹 大西麻絢 北村悠 服部夏希 大西彩絢 長谷川侑希  
松永宏子 大西華鈴 服部義樹 井上諒也 齊藤喬

笛方及び応援

竹内直己 吉田好夫 吉田均 林健次 佐々木弘明 山崎博実 田口良市  
八木市次 八木辰夫 藤本新一 齊藤茂 井上昌啓 山本善衛 服部康生  
中澤克己 ライター・セント

10月23日 復元完成式典時囃子披露

鉦, 太鼓方

富松祐太 中島悠樹 大西麻絢 服部夏希 長谷川侑希 松永宏子

笛方

林健次 佐々木弘明 山崎博実 田口良市 齊藤茂 井上昌啓 山本善衛  
ライター・セント

10月23, 24日 宵々山, 宵山

本年より鉦は小川常人様宅前で飾る 鉦方が道路側になるため。

10月25日 本宮

巡行時旅籠町本部前にて嶋村克美氏パフォーマンス

巡行所要時間及び曳き方の子どもの疲労を勘案して追分町には巡行せず。

スタッフ 笛方 田口良市 山崎博実 佐々木弘明 ライター・セント 林健次  
音頭取 藤本新一 吉田均

鉦・太鼓方 富松祐太 中島悠樹 大西麻絢 服部夏樹 長谷川侑希  
松永宏子 北村悠 大西彩絢 大西華鈴 井上諒也  
服部義樹 齊藤喬

11月3日

ガレリアかめおかにて市制50周年記念事業の一環〔亀岡 祭の博物館〕に参加  
お囃子の披露約15分(降雨のため)

富松祐太 中島悠樹 大西麻絢 長谷川侑希 松永宏子 北村悠  
吉田好夫 吉田忠司 吉田均 林健次 谷内信隆 山崎博実 八木市次  
八木辰夫 藤本新一 齊藤茂 井上昌啓 山本善衛 中澤克己 ライター・セント



# 鍬山鉦噺子譜面

## I. 太鼓・鉦

### ①つなぎ

(鉦・太鼓)			
(イヤーン)	デンデン		
(太鼓のみ)	カン	カカカン	チキタン
(ソール)	チキチキ	チキチキ	カン
	チキタン	チキタン	チキタン
(ソール)	カカカン	カカカン	カンチキタン

### ②獅子

(太鼓)			
(コーノ)	デン	ツクツン	デン
(ソール)	デンデン	ツクツン	デン
(ソール)	デゴデン	ツクツン	デン
(ソール)	デゴデゴ	デンデン	デン
(鉦)			
(コーノ)	カン	チキタン	カン
(ソール)	カンカン	チキタン	カン
(ソール)	カカカン	チキタン	カン
(ソール)	カカカカ	カンカン	カン

### ③神楽

(太鼓)			
(コーノ)	デンデンデン	以下 繰返シ	

(鉦)			
(コーノ)	チンチンチン	以下 繰返シ	

### ④地噺子

(太鼓)			
(コーノ)	デン	ツクツン	ツクデン
(コーノ)	デン	ツクデン	デノスツ
(鉦)			
(コーノ)	カン	チキタン	チキタン
以下 繰返シ			

### ⑤一二三

(太鼓)			
(コーノ)	デン	ツクツン	マタデン
	カンカン	デンデン	マタデン
	カカデン	デゴデン	デゴデン
(鉦)			
(コーノ)	カン	チキタン	チキタン
	カンカン	チキタン	チキタン
	カカカン	チキタン	チキタン

⑥ 鍬山囃子

(太鼓)				
(ヨ-イ)	●●○	ツクツン	デン	ツクツン
(ソ-レ)	ツクデン	ツクデン	スツ	デンデン
(ソ-レ)	デンデン	ツクツン	デン	ツクツン
(ソ-レ)	デンツク	デンツク	デン	ツクツン
(ソ-レ)	デンデンツク	デンデンツク	デンデンツクツン	
(ソ-レ)	●●○	ツクツク	デン	ツクツン
(鉦)				
(ヨ-イ)	カカカン	クキケン	ケン	クキケン
(ソ-レ)	ケンケン	クキクキ	カン	カカカン
(ソ-レ)	カンカン	クキケン	カン	クキケン
(ソ-レ)	クキクキ	ケンケン	カン	クキケン
(ソ-レ)	カンカンクキ	カンカンクキ	カンカンクキケン	
(ソ-レ)	カカカン	カカカカ	カン	クキケン

⑦ 戻り鉦

(太鼓)				
(ヨ-イ)	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
	デンデンデン	デンデンデン	デンデンデン	デンデンデン
	以下繰返シ			
(鉦)				
(ヨ-イ)	クキケン	クキケン	クキケン	クキケン
	以下繰返シ			

⑧ めぐり鉦

(太鼓)				
(ソ-レ)	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
	デンデンデン	ツクデン	ツクデン	デンデンデン

★ 掛声のつて

- (1) イヤッー, ----- 最初の「つなぎ」へ。
- (2) ヨーイッ, ----- 曲間の「つなぎ」へ。
- (2) ヨーイッ, ----- 「つなぎ」から「鍬山囃子」へ。
- (3) コーノ, } ----- 小節のツナギ。
- (4) ソーレ, }
- (5) ソーゴ, ----- 次の曲へ。
- (6) ヤーホッ, ----- 止。(「つなぎ」  
へ入る前)

(鉦)	○ ○ ○	○ ● ○ ○	○ ○ ○	○ ● ○ ○
(コーノ)	チキチン	チンチキチン	チキチン	チンチキチン
(ソ-レ)	以下繰返シ			

II. 笛

②獅子

(笛)				
{	ハイ	オブロ	ハイ	オブロ
	オハイ	オブロ	ハイ	オブロ
	オブ	オハイ	オブロ	オー
	ブ	ル	ロ	ム

④地囃子

(笛)				
{	オー	オブ	ル	ウ
	ブ	ロ	オ	ー
{	オー	ハイ	オブ	ロ
	ハイ	ハイ	ハイ	ハイ
{	ハイ	ハイ	ハイ	ハイ
	ハイ	ハイ	ハイ	ハイ
{	ハイ	ハイ	ハイ	ハイ
	ハイ	ハイ	ハイ	ハイ

⑥鉾山囃子

笛				
{	ハイ	ハイ	ハイ	ハイ
	ハイ	ハイ	ハイ	ハイ
	ハイ	ハイ	ハイ	ハイ
	ハイ	ハイ	ハイ	ハイ
{	ハイ	ハイ	ハイ	ハイ
	ハイ	ハイ	ハイ	ハイ
{	ハイ	ハイ	ハイ	ハイ
	ハイ	ハイ	ハイ	ハイ

③神楽

(笛)				
{	ハイ	ハイ	ハイ	
	ハイ	ハイ	ハイ	ハイ
	ハイ	ハイ	ハイ	ハイ
	ハイ	ハイ	ハイ	ハイ
	ハイ	ハイ	ハイ	ハイ
	ハイ	ハイ	ハイ	ハイ
	ハイ	ハイ	ハイ	ハイ
	ハイ	ハイ	ハイ	ハイ

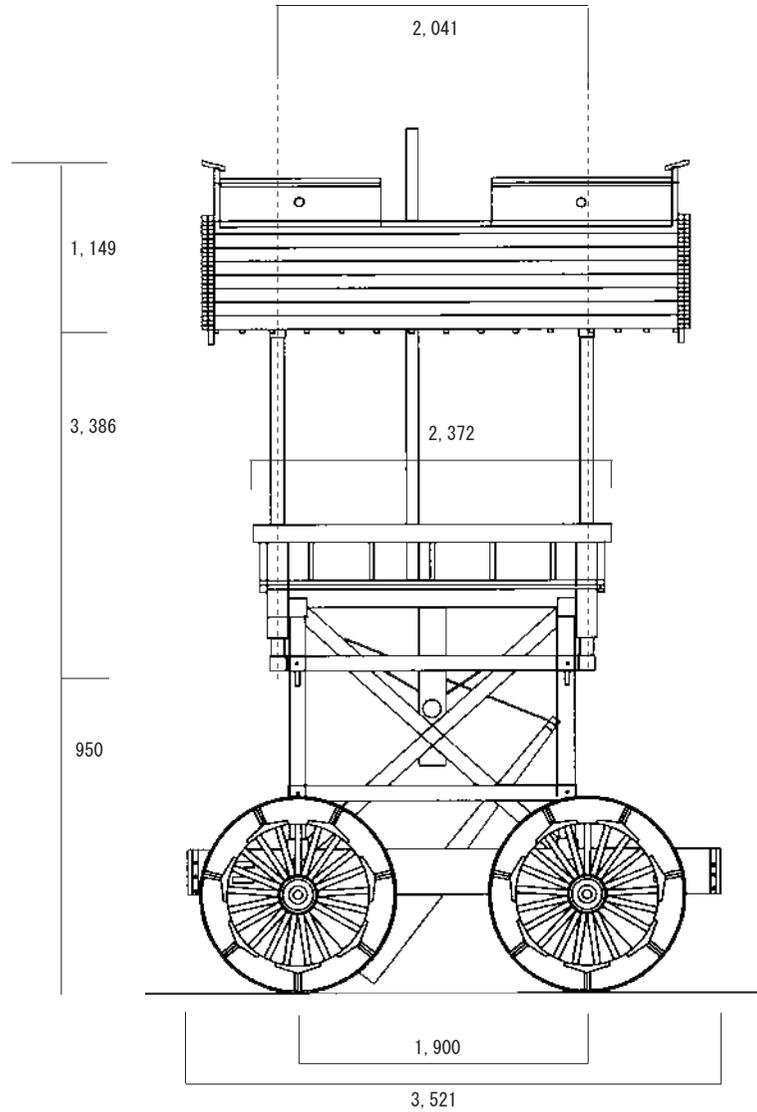
⑤一二三

笛				
{	ハイ	ハイ	ハイ	ハイ
	ハイ	ハイ	ハイ	ハイ
	ハイ	ハイ	ハイ	ハイ
{	ハイ	ハイ	ハイ	ハイ
	ハイ	ハイ	ハイ	ハイ
{	ハイ	ハイ	ハイ	ハイ
	ハイ	ハイ	ハイ	ハイ
{	ハイ	ハイ	ハイ	ハイ
	ハイ	ハイ	ハイ	ハイ

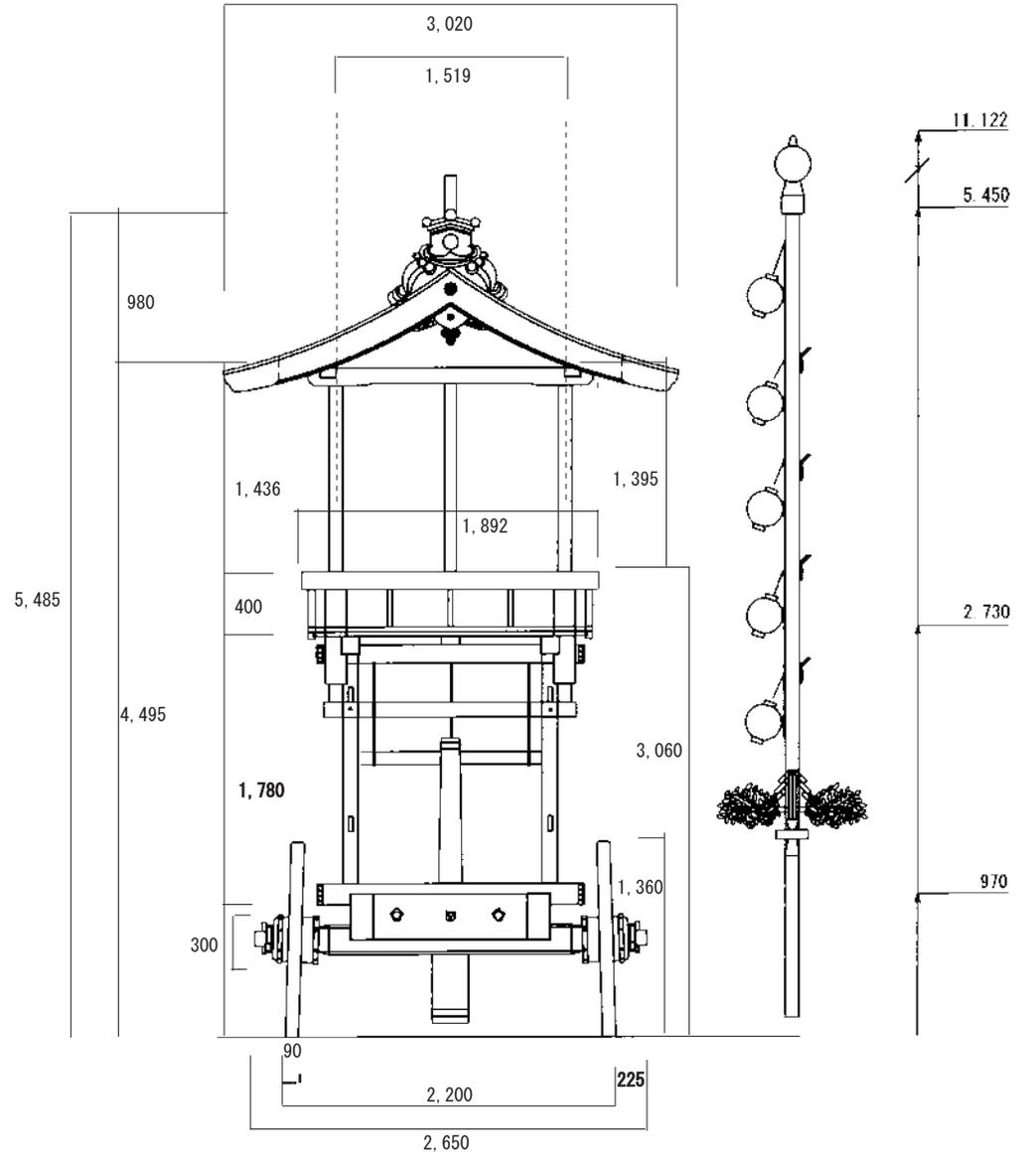


# 鍬山鉾設計図 (1)

側面



正面

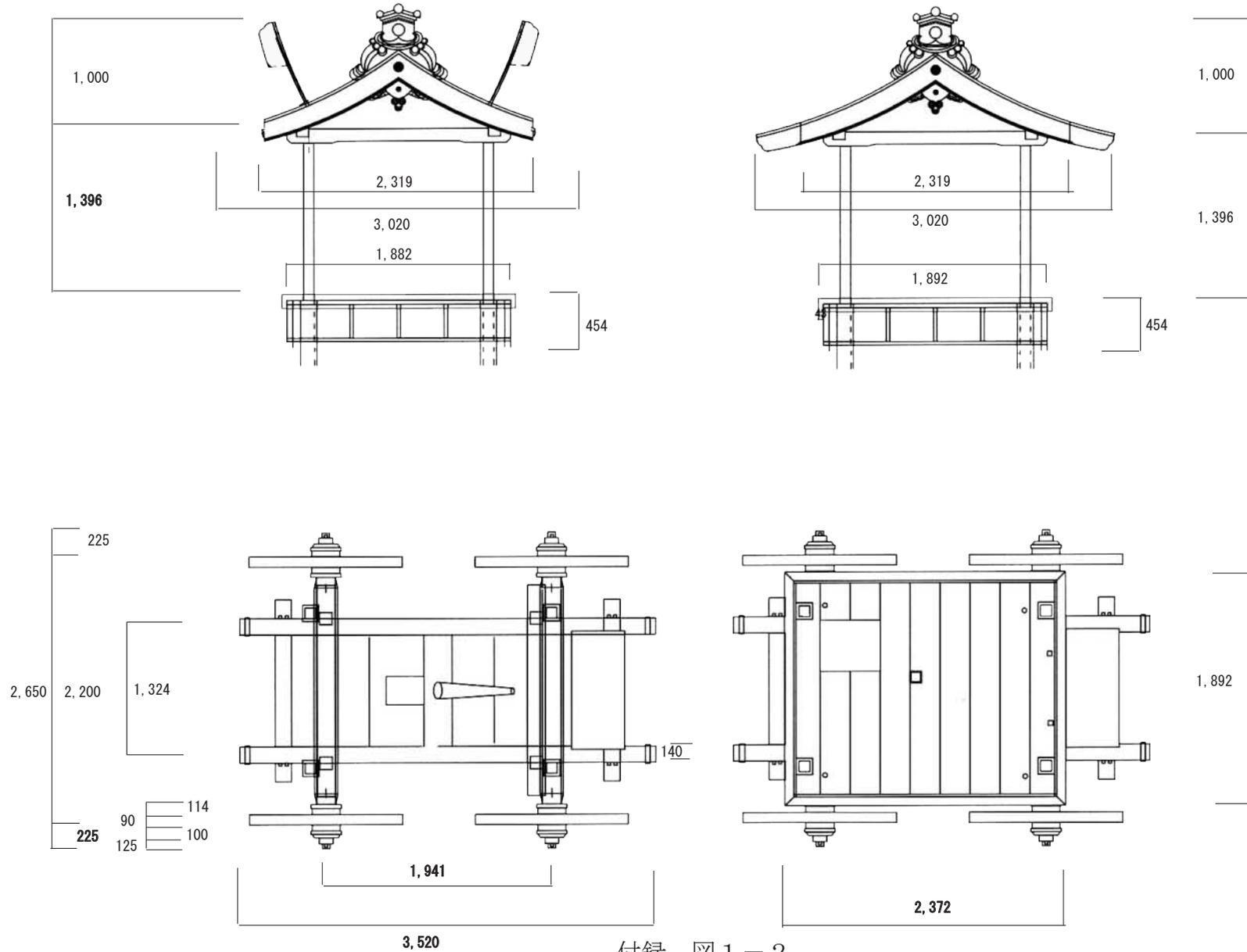


付録 図1-1

屋根跳ね上げ

鍬山鉾設計図 (II)

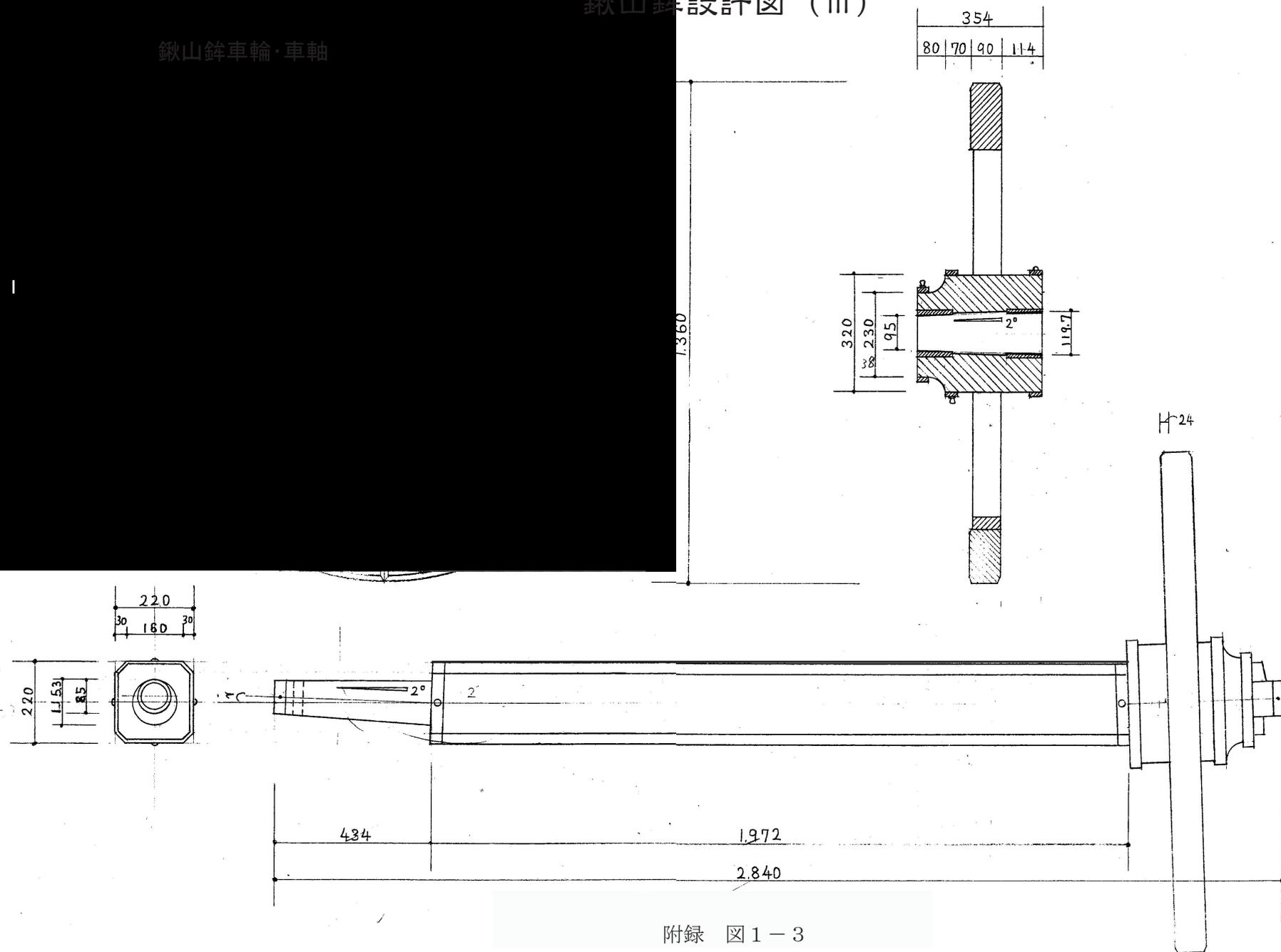
正面



付録 図 1 - 2

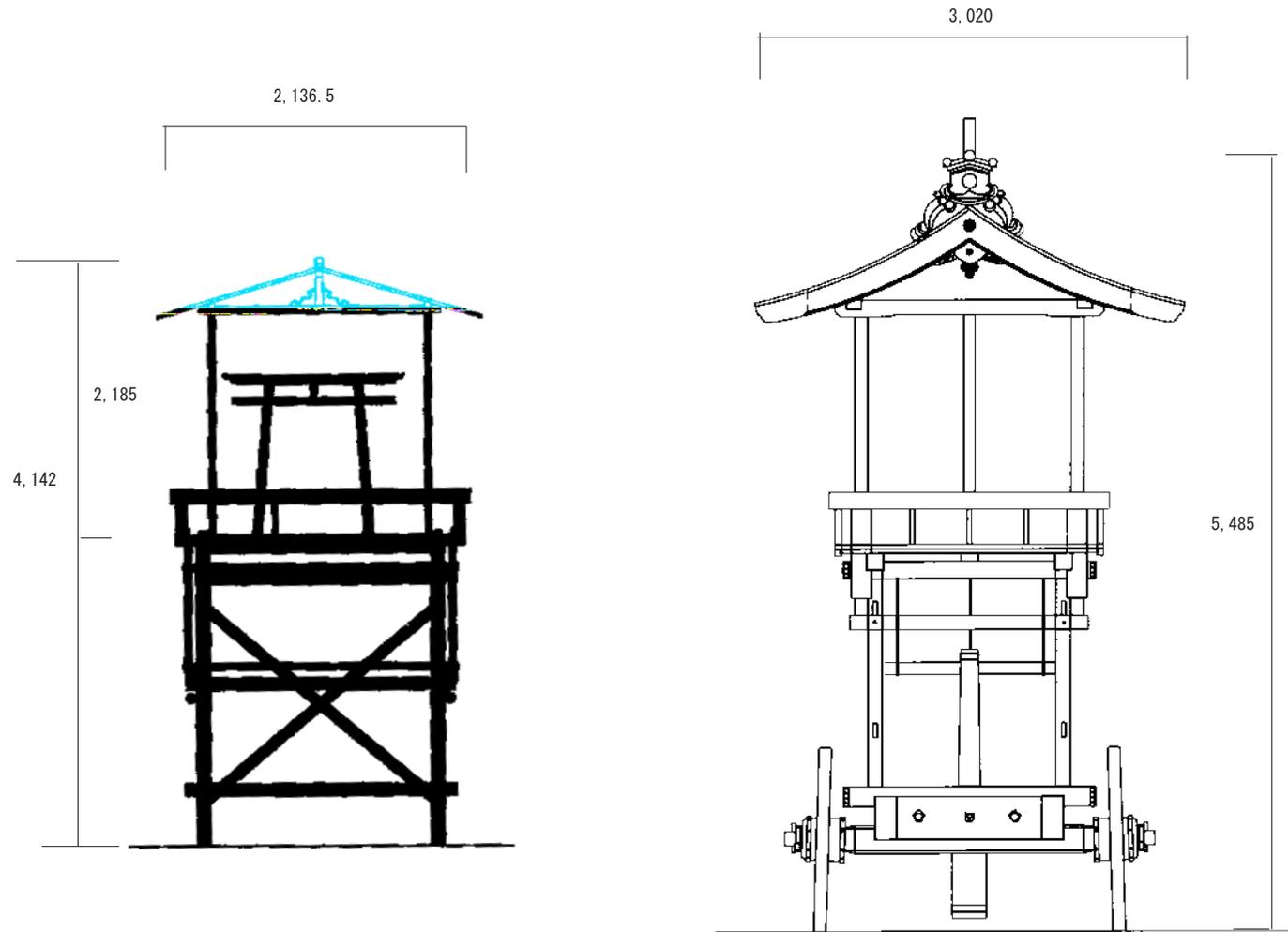
鍬山銼設計圖 (III)

鍬山銼車輪·車軸



附錄 圖 1-3

# 鍬山（舁山）と鍬山鉾（曳山）の比較図



2階部分のレベルを合わせて表示してみると、屋根部分と鉾車の大きさが大きくなったが、2階部分の高さ、床面積等は変わらないことがわかる。

# 亀岡祭山鉾サイズ比較

